

亀山市人権問題に関する市民意識調査
調査結果報告書

令和6年3月

亀 山 市

1 調査の概要

(1) 調査の目的

市民の人権に関する意識の現状を把握し、今後の取組を進めるうえでの課題を明らかにする基礎資料とするために実施したものです。

(2) 調査の方法

- ①調査対象地域 亀山市全域
- ②調査対象者 満 18 歳以上の市民 1,000 人を無作為抽出
- ③調査期間 令和 6 年 1 月～2 月
- ④調査方法 郵送によって配布し、調査票またはウェブにて回答・回収

(3) 配布・回収数

配布数	回収数	回収率	白紙回答	有効回収数	有効回収率
1,000	368	36.8%	3	365	36.5%
うち調査票	280	28.0%	3	277	27.7%
うちウェブ	88	8.8%	—	88	8.8%

(4) 報告書の見方（注意事項）

- ①グラフおよび表中の n 値（number of case）は、設問に対する回答者数を表しています。
- ②調査結果（グラフ）の比率は、その設問の回答者数（n 値）を分母として、小数点以下第 2 位を四捨五入して算出し、小数点以下第 1 位までを表示しています。したがって、端数処理のため、回答比率の合計は必ずしも 100%にならない場合があります。
- ③複数回答形式（複数の選択肢から 2 つ以上の選択肢を選ぶ方式）の設問については、その設問の回答者数（n 値）を分母として比率を算出しています。したがって、すべての回答比率の合計が 100%を超えることがあります。
- ④各設問において、年齢別、性別、家族形態別のクロス集計を行っています。いずれも、年齢、性別、家族形態の各選択肢の回答者数（n 値）を分母とした比率を表しています。選択肢によっては回答者数がごく少ないものがあり、その場合はコメントを省略しています。

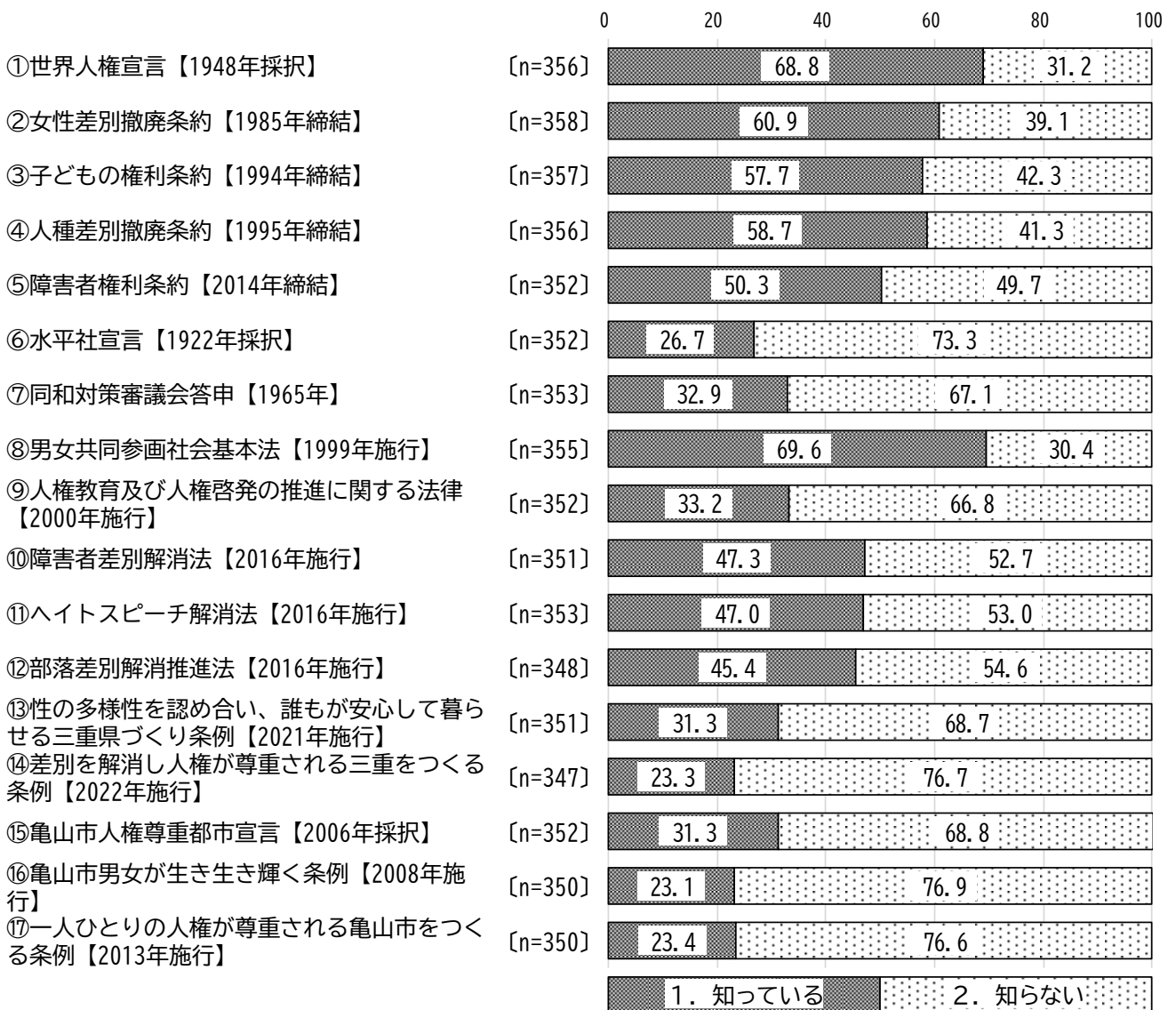
Ⅱ 調査結果

Ⅰ. 人権意識について

問1 あなたは次のような人権に関する宣言や条約、法律、条例などがあることをご存知ですか。《択一回答》

人権に関する宣言、条約、法律、条例についての認知度については、①世界人権宣言、⑧男女共同参画社会基本法、②女性差別撤廃条約が60%を超え、④人種差別撤廃条約、③子どもの権利条約も60%近い認知度があります。また、⑤障害者権利条約、⑩障害者差別解消法、⑪ヘイトスピーチ解消法、⑫部落差別解消推進法についても50%前後の認知度となっています。

一方、三重県及び亀山市の条例や宣言については20～30%の認知度にとどまっています。



※数値は比率 (%)

〔年齢別クロス集計〕

年齢別の傾向をみると、全体では認知度の低かった亀山市の条例や宣言については、年齢が高くなるほど認知度が高く、若年層ほど低いという結果となっています。逆に、全体では認知度が低かった⑥水平社宣言については、年齢が高くなるほど認知度が高く、高齢層ほど低いという結果となっています。

上段：件数 下段：比率(%)	年齢（問20）							
	18～29 歳	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳代	80歳代	90歳以 上
①世界人権宣言	23 69.7	30 75.0	42 76.4	45 81.8	39 65.0	45 61.6	14 58.3	2 33.3
②女性差別撤廃条約	22 66.7	28 70.0	31 56.4	29 52.7	40 65.6	46 62.2	12 50.0	3 50.0
③子どもの権利条約	20 60.6	27 67.5	32 59.3	25 45.5	41 67.2	45 60.8	10 41.7	3 50.0
④人種差別撤廃条約	17 51.5	24 61.5	29 53.7	26 47.3	43 70.5	49 66.2	12 50.0	3 50.0
⑤障害者権利条約	18 54.5	22 55.0	22 41.5	22 41.5	32 53.3	43 58.9	10 41.7	4 66.7
⑥水平社宣言	16 48.5	17 42.5	16 29.6	12 23.1	14 23.3	13 17.8	3 12.5	1 16.7
⑦同和対策審議会答申	6 18.2	11 28.2	9 16.7	17 30.9	24 40.7	35 47.3	9 39.1	3 50.0
⑧男女共同参画社会基本法	26 78.8	30 75.0	32 59.3	38 69.1	44 73.3	52 70.3	16 69.6	3 50.0
⑨人権教育及び人権啓発の推進に関する法律	16 50.0	13 32.5	12 22.2	18 33.3	22 36.7	26 35.6	6 26.1	3 50.0
⑩障害者差別解消法	14 42.4	19 47.5	23 42.6	22 40.0	30 51.7	43 58.9	10 43.5	1 16.7
⑪ヘイトスピーチ解消法	15 45.5	21 53.8	26 48.1	27 49.1	28 47.5	39 52.7	5 21.7	1 16.7
⑫部落差別解消推進法	16 48.5	16 41.0	21 38.9	21 41.2	28 47.5	41 55.4	9 40.9	3 50.0
⑬性の多様性を認め合い、誰もが安心して暮らせる三重県づくり条例	6 18.2	11 28.2	14 25.5	19 35.2	19 32.8	29 39.7	8 34.8	3 50.0
⑭差別を解消し人権が尊重される三重をつくる条例	5 15.2	11 27.5	6 11.3	14 26.4	14 24.1	20 27.8	7 31.8	2 33.3
⑮亀山市人権尊重都市宣言	8 24.2	10 25.0	13 24.5	18 32.7	20 33.9	28 37.8	10 45.5	2 33.3
⑯亀山市男女が生き生き輝く条例	2 6.3	7 17.5	8 14.5	11 20.4	14 24.6	25 34.2	9 39.1	3 50.0
⑰一人ひとりの人権が尊重される亀山市をつくる条例	2 6.1	9 23.1	9 17.0	14 25.5	12 20.7	21 28.8	10 43.5	4 66.7

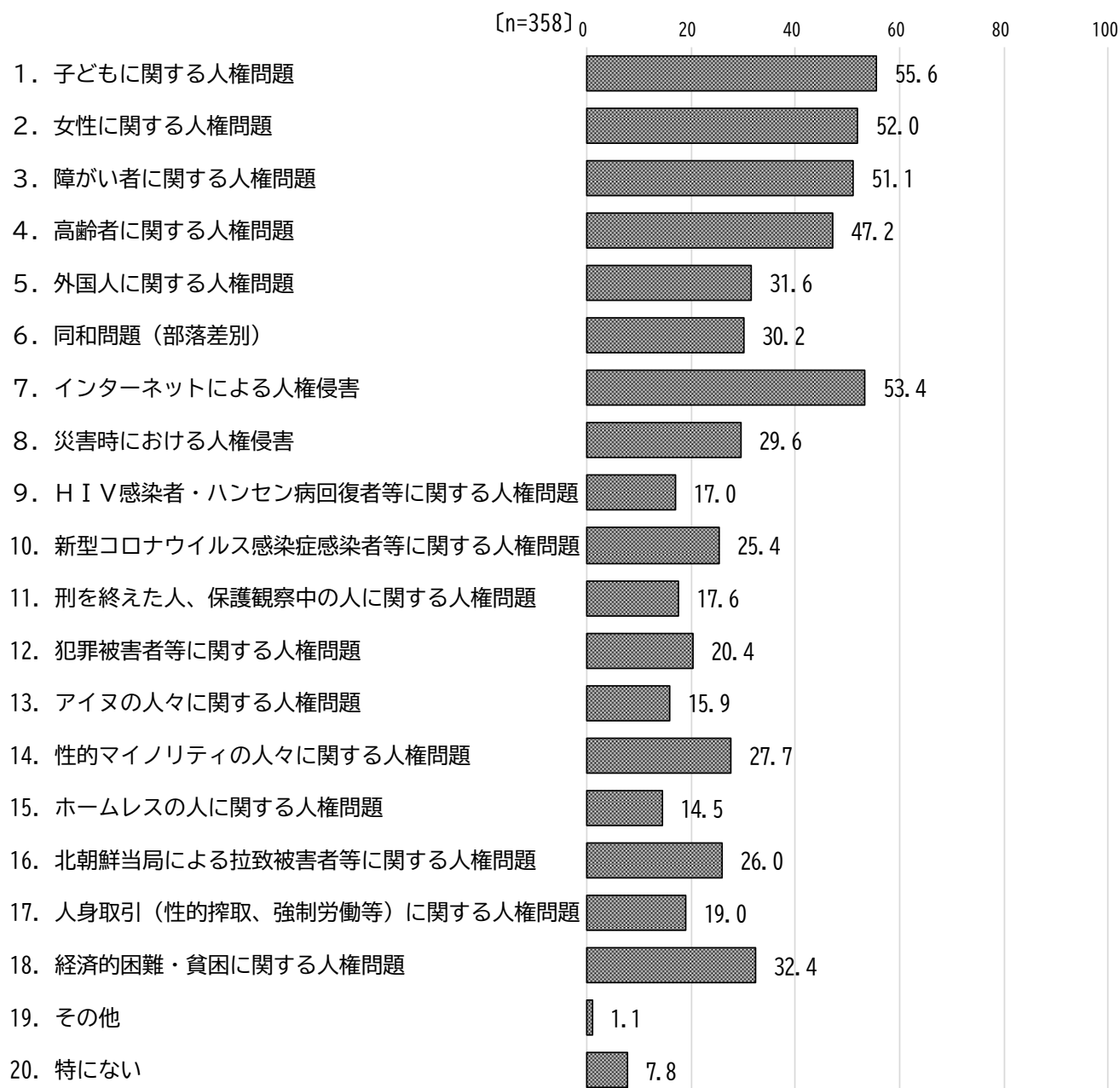
は全年齢の結果よりも10ポイント以上高いもの

問2 日本における人権問題について、あなたの関心があるものはどれですか。
《複数回答》

人権問題への関心度については、「1. 子どもに関する人権問題」、「7. インターネットによる人権侵害」、「2. 女性に関する人権問題」、「3. 障がい者に関する人権問題」が50%を超え、「4. 高齢者に関する人権問題」についても50%近い人が関心を持っています。

一方、「15. ホームレスの人に関する人権問題」、「13. アイヌの人々に関する人権問題」、「9. HIV感染者・ハンセン病回復者等に関する人権問題」、「11. 刑を終えた人、保護観察中の人に関する人権問題」、「17. 人身取引に関する人権問題」は20%未満の関心度となっています。

また、「20. 特にない」と答えた人は7.8%でした。



※数値は比率（%）

〔年齢別クロス集計〕

年齢別の傾向をみると、「4. 高齢者に関する人権問題」や「10. 新型コロナウイルス感染症感染者等に関する人権問題」については特に70歳代以上で関心度が高くなっています。一方、「1. 子どもに関する人権問題」、「2. 女性に関する人権問題」、「7. インターネットによる人権侵害」については30歳代で、「5. 外国人に関する人権問題」、「14. 性的マイノリティの人々に関する人権問題」については20歳代で、「18. 経済的困難・貧困に関する人権問題」については60歳代で、それぞれ関心度が高くなっています。

上段:件数 下段:比率(%)		年齢(問20)							
		18~29歳	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳代	80歳代	90歳以上
問2	n値	32	40	54	57	60	74	25	6
	1. 子どもに関する人権問題	14 43.8	29 72.5	28 51.9	30 52.6	36 60.0	41 55.4	11 44.0	4 66.7
	2. 女性に関する人権問題	17 53.1	25 62.5	27 50.0	28 49.1	32 53.3	38 51.4	9 36.0	3 50.0
	3. 障がい者に関する人権問題	15 46.9	17 42.5	23 42.6	30 52.6	36 60.0	43 58.1	10 40.0	4 66.7
	4. 高齢者に関する人権問題	7 21.9	13 32.5	19 35.2	25 43.9	33 55.0	44 59.5	17 68.0	6 100.0
	5. 外国人に関する人権問題	16 50.0	13 32.5	19 35.2	14 24.6	20 33.3	24 32.4	3 12.0	1 16.7
	6. 同和問題(部落差別)	6 18.8	8 20.0	20 37.0	13 22.8	22 36.7	29 39.2	7 28.0	1 16.7
	7. インターネットによる人権侵害	19 59.4	26 65.0	27 50.0	31 54.4	37 61.7	36 48.6	6 24.0	1 16.7
	8. 災害時における人権侵害	7 21.9	14 35.0	17 31.5	11 19.3	22 36.7	22 29.7	7 28.0	3 50.0
	9. HIV感染者・ハンセン病回復者等に関する人権問題	3 9.4	8 20.0	7 13.0	7 12.3	13 21.7	19 25.7	2 8.0	1 16.7
	10. 新型コロナウイルス感染症感染者等に関する人権問題	6 18.8	11 27.5	8 14.8	8 14.0	15 25.0	28 37.8	10 40.0	3 50.0
	11. 刑を終えた人、保護観察中の 人に関する人権問題	5 15.6	8 20.0	10 18.5	12 21.1	12 20.0	12 16.2	1 4.0	2 33.3
	12. 犯罪被害者等に関する人権問 題	3 9.4	4 10.0	9 16.7	13 22.8	17 28.3	19 25.7	2 8.0	3 50.0
	13. アイヌの人々に関する人権問 題	4 12.5	7 17.5	8 14.8	9 15.8	10 16.7	13 17.6	3 12.0	1 16.7
	14. 性的マイノリティの人々に関 する人権問題	16 50.0	12 30.0	14 25.9	13 22.8	21 35.0	19 25.7	2 8.0	- -
	15. ホームレスの人に関する人権 問題	3 9.4	5 12.5	7 13.0	7 12.3	12 20.0	12 16.2	2 8.0	2 33.3
	16. 北朝鮮当局による拉致被害者 等に関する人権問題	3 9.4	6 15.0	8 14.8	12 21.1	18 30.0	35 47.3	5 20.0	4 66.7
	17. 人身取引(性的搾取、強制労 働等)に関する人権問題	8 25.0	9 22.5	9 16.7	12 21.1	14 23.3	12 16.2	1 4.0	2 33.3
	18. 経済的困難・貧困に関する人 権問題	9 28.1	16 40.0	13 24.1	14 24.6	26 43.3	26 35.1	6 24.0	2 33.3
	19. その他	- -	- -	- -	2 3.5	1 1.7	1 1.4	- -	- -
	20. 特にない	4 12.5	3 7.5	6 11.1	2 3.5	4 6.7	5 6.8	3 12.0	- -

は全年齢の結果よりも10ポイント以上高いもの

〔性別クロス集計〕

性別による傾向をみると、「女性」については女性の関心がやや高く、「高齢者」、「ホームレスの人」については男性の関心がやや高くなっています。

上段:件数 下段:比率(%)		性別 (問19)		
		男性	女性	どちらともいえない、又は答えたくない
問2	n値	168	176	6
	1. 子どもに関する人権問題	91 54.2	100 56.8	5 83.3
	2. 女性に関する人権問題	73 43.5	106 60.2	4 66.7
	3. 障がい者に関する人権問題	82 48.8	94 53.4	3 50.0
	4. 高齢者に関する人権問題	90 53.6	73 41.5	2 33.3
	5. 外国人に関する人権問題	57 33.9	51 29.0	3 50.0
	6. 同和問題（部落差別）	57 33.9	45 25.6	3 50.0
	7. インターネットによる人権侵害	90 53.6	91 51.7	5 83.3
	8. 災害時における人権侵害	51 30.4	49 27.8	4 66.7
	9. HIV感染者・ハンセン病回復者等に関する人権問題	31 18.5	27 15.3	2 33.3
	10. 新型コロナウイルス感染症感染者等に関する人権問題	43 25.6	44 25.0	1 16.7
	11. 刑を終えた人、保護観察中の 人に関する人権問題	33 19.6	27 15.3	2 33.3
	12. 犯罪被害者等に関する人権問題	35 20.8	33 18.8	3 50.0
	13. アイヌの人々に関する人権問題	35 20.8	17 9.7	3 50.0
	14. 性的マイノリティの人々に関する人権問題	42 25.0	54 30.7	2 33.3
	15. ホームレスの人に関する人権問題	33 19.6	15 8.5	2 33.3
	16. 北朝鮮当局による拉致被害者等に関する人権問題	46 27.4	43 24.4	2 33.3
	17. 人身取引（性的搾取、強制労働等）に関する人権問題	33 19.6	32 18.2	2 33.3
	18. 経済的困難・貧困に関する人権問題	57 33.9	52 29.5	2 33.3
	19. その他	- -	4 2.3	- -
	20. 特になし	13 7.7	14 8.0	- -

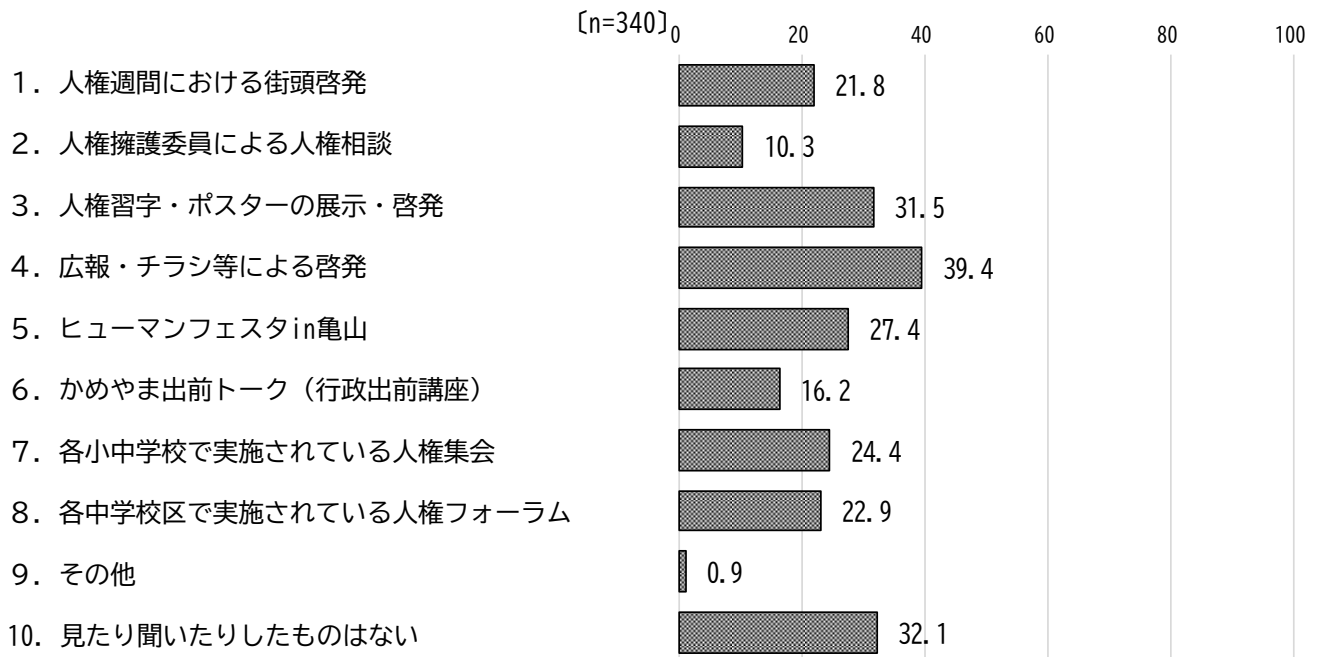
■ は全性別の結果よりも10ポイント以上高いもの

太字 は全性別の結果よりも5ポイント以上高いもの

問3 あなたは、亀山市で実施されている、次のような人権に関する取組を見たり聞いたり、参加したことがありますか。《複数回答》

亀山市での人権に関する取組の認知・参加については、「4. 広報・チラシ等による啓発」が39.4%で最も高く、次いで「3. 人権習字・ポスターの展示・啓発」が31.5%、「5. ヒューマンフェスタ in 亀山」が27.4%で続いています。

一方、「10. 見たり聞いたりしたものはない」も32.1%に上ります。



※数値は比率（%）

〔年齢別クロス集計〕

年齢別の傾向をみると、「4. 広報・チラシ等による啓発」は60歳代が非常に高い一方、「3. 人権習字・ポスターの展示・啓発」は概ねどの年齢も平均的であり、「5. ヒューマンフェスタ in 亀山」は50歳代をはじめとする中間年齢層（40～50歳）で高くなっています。

また、「7. 各小中学校で実施されている人権集会」や「8. 各中学校区で実施されている人権フォーラム」については18～29歳と50歳代が高く、年齢が低いほうが認知・参加が高いと言えます。

上段:件数 下段:比率(%)		年齢(問20)							
		18～29歳	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳代	80歳代	90歳以上
問3	n値	33	39	53	55	54	68	22	6
	1. 人権週間における街頭啓発	5 15.2	13 33.3	12 22.6	7 12.7	17 31.5	14 20.6	2 9.1	2 33.3
	2. 人権擁護委員による人権相談	- -	3 7.7	2 3.8	6 10.9	10 18.5	10 14.7	3 13.6	1 16.7
	3. 人権習字・ポスターの展示・啓発	8 24.2	13 33.3	16 30.2	18 32.7	22 40.7	21 30.9	4 18.2	3 50.0
	4. 広報・チラシ等による啓発	11 33.3	10 25.6	14 26.4	21 38.2	34 63.0	32 47.1	8 36.4	2 33.3
	5. ヒューマンフェスタin亀山	8 24.2	12 30.8	19 35.8	23 41.8	14 25.9	12 17.6	2 9.1	1 16.7
	6. かめやま出前トーク（行政出前講座）	2 6.1	4 10.3	3 5.7	11 20.0	9 16.7	17 25.0	7 31.8	2 33.3
	7. 各小中学校で実施されている人権集会	14 42.4	12 30.8	15 28.3	19 34.5	10 18.5	8 11.8	1 4.5	1 16.7
	8. 各中学校区で実施されている人権フォーラム	14 42.4	9 23.1	12 22.6	21 38.2	11 20.4	6 8.8	2 9.1	1 16.7
	9. その他	- -	- -	- -	- -	2 3.7	1 1.5	- -	- -
	10. 見たり聞いたりしたものはない	13 39.4	14 35.9	19 35.8	20 36.4	10 18.5	20 29.4	6 27.3	3 50.0

は全年齢の結果よりも10ポイント以上高いもの

〔性別クロス集計〕

性別による傾向をみると、「3. 人権習字・ポスターの展示・啓発」で女性が高いのをはじめ、全般に女性のほうが認知・参加が高いと言えます。

男性は「10. 見たり聞いたりしたものはない」が41.6%と高くなっています。

上段:件数 下段:比率(%)		性別(問19)		
		男性	女性	どちらともいえない、又は答えたくない
問3	n値	161	165	6
	1. 人権週間における街頭啓発	32 19.9	40 24.2	2 33.3
	2. 人権擁護委員による人権相談	12 7.5	23 13.9	-
	3. 人権習字・ポスターの展示・啓発	35 21.7	69 41.8	3 50.0
	4. 広報・チラシ等による啓発	59 36.6	70 42.4	2 33.3
	5. ヒューマンフェスタin亀山	32 19.9	58 35.2	1 16.7
	6. かめやま出前トーク(行政出前講座)	19 11.8	35 21.2	-
	7. 各小中学校で実施されている人権集会	29 18.0	52 31.5	2 33.3
	8. 各中学校区で実施されている人権フォーラム	29 18.0	48 29.1	1 16.7
	9. その他	3 1.9	-	-
	10. 見たり聞いたりしたものはない	67 41.6	37 22.4	1 16.7

■ は全性別の結果よりも10ポイント以上高いもの

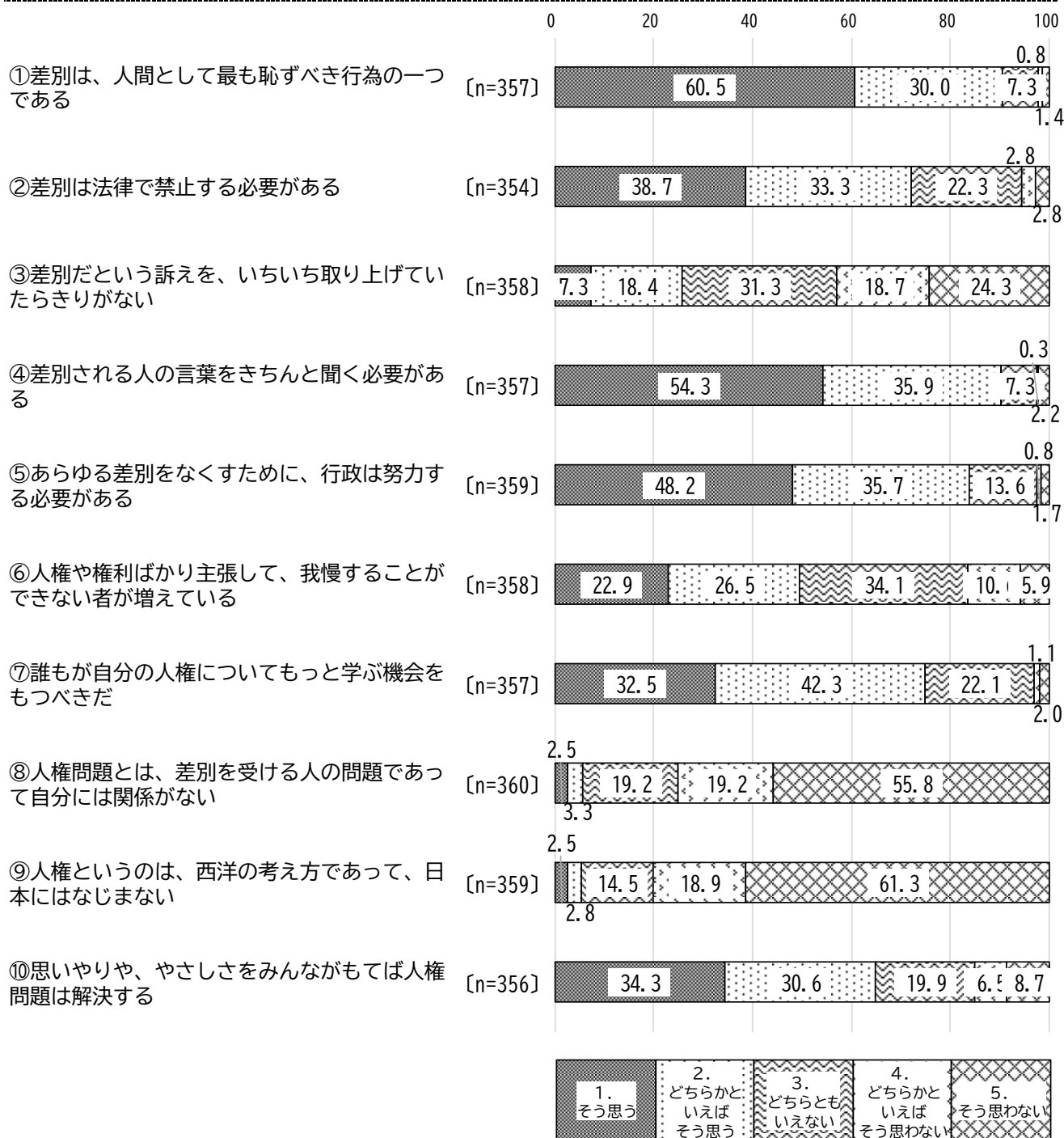
太字 は全性別の結果よりも5ポイント以上高いもの

問4 人権や差別をめぐっていろいろな考え方がありますが、あなたはどのようにお考えですか。《択一回答》

人権や差別をめぐる考え方については、①差別は、人間として最も恥ずべき行為の一つである、④差別される人の言葉をきちんと聞く必要がある、で「1. そう思う」と「2. どちらかといえばそう思う」を足した肯定的回答が90%を超えています。

また、⑧人権問題とは、差別を受ける人の問題であって自分には関係がない、⑨人権というのは、整容の考え方であって、日本にはなじまない、で「5. そう思わない」と「4. どちらかといえばそう思わない」を足した否定的回答が80%前後に上っています。

一方、③差別だという訴えを、いちいち取り上げていたらきりがない、は肯定的回答と否定的回答の差が他の項目と比べて小さい結果となっています。



※数値は比率 (%)

《肯定(否定)度による各項目の比較》

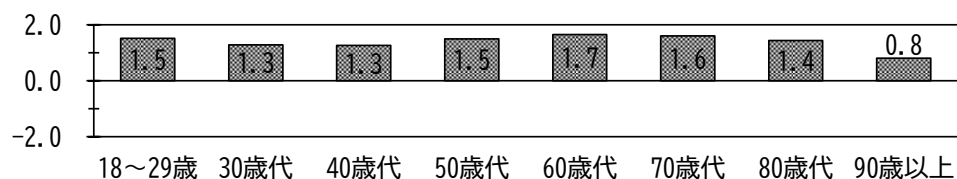
問4と問5のクロス集計では、10の項目について、肯定(否定)度を数値化して比較します。

肯定(否定)度は、各指標の選択肢に対して「1. そう思う」を2点、「2. どちらかといえばそう思う」を1点、「3. どちらともいえない」を0点、「4. どちらかといえばそう思わない」を-1点、「5. そう思わない」を-2点として点数を付与し、得点合計を有効回答数で割って、平均点(肯定・否定度)を算出します。

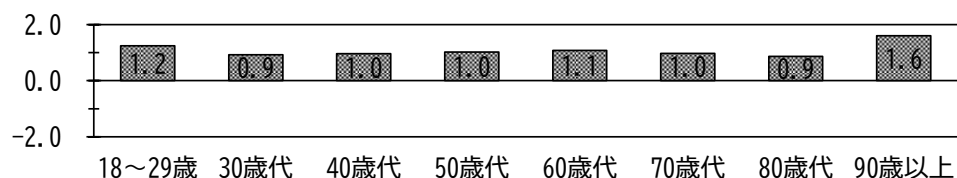
〔年齢別クロス集計〕

年齢別の傾向をみると、年齢による差が大きいものとしては、③差別だという訴えを、いちいち取り上げていたらきりがない、については18～29歳や30歳代では0.0～0.1と肯定度と否定度が拮抗している一方、年齢が高くなると否定度が高くなっています。逆に、⑩思いやりや、やさしさをみんながもてば人権問題は解決する、については年齢が高いほうが肯定度が高く、年齢が低いほうが肯定度が低くなっています。また、⑧人権問題とは、差別を受ける人の問題であって自分には関係がない、⑨人権というのは、西洋の考え方であって、日本にはなじまない、については、80歳代以上で否定度がやや低くなっています。

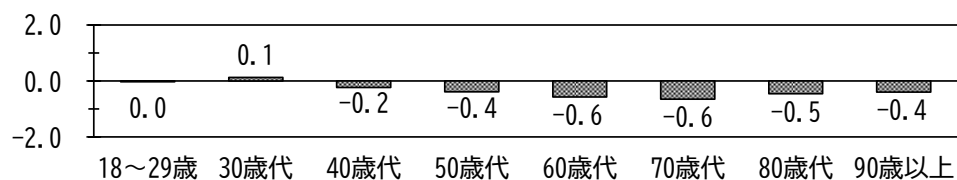
①差別は、人間として最も恥ずべき行為の一つである



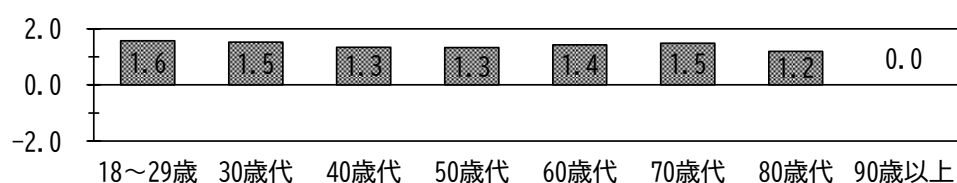
②差別は法律で禁止する必要がある



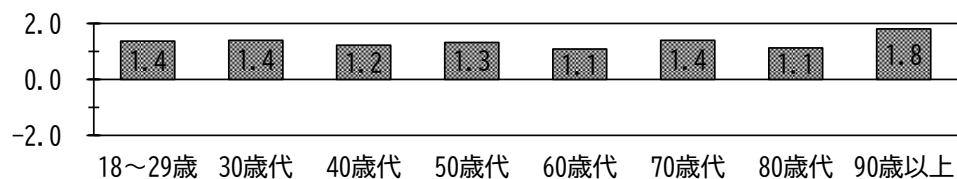
③差別だという訴えを、いちいち取り上げていたらきりがない



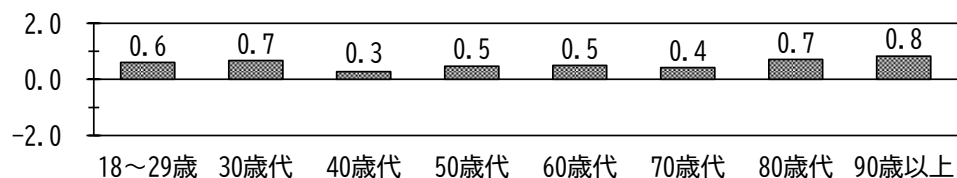
④差別される人の言葉をきちんと聞く必要がある



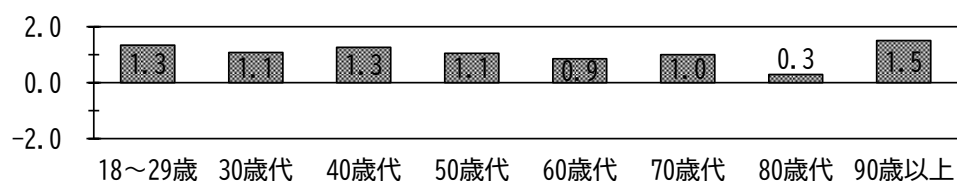
⑤あらゆる差別をなくすために、行政は努力する必要がある



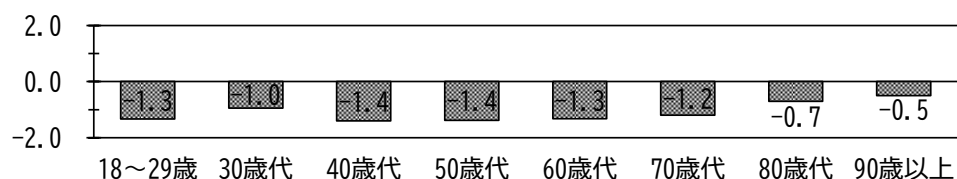
⑥人権や権利ばかり主張して、我慢することができない者が増えている



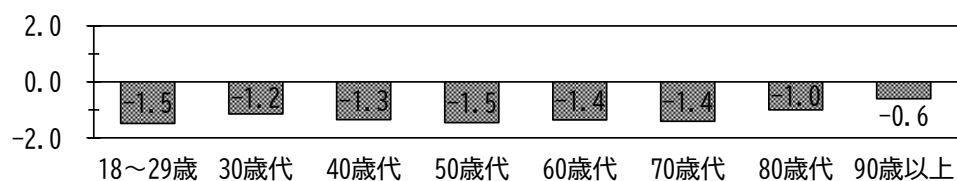
⑦誰もが自己的人権についてもっと学ぶ機会をもつべきだ



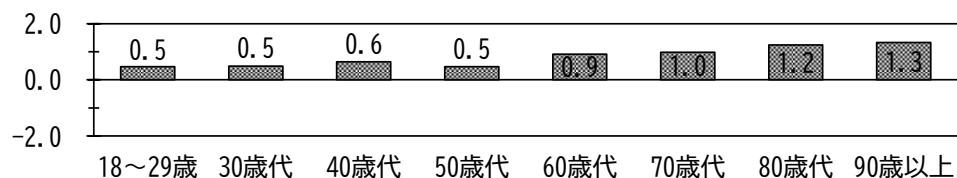
⑧人権問題とは、差別を受ける人の問題であって自分には関係がない



⑨人権というのは、西洋の考え方であって、日本にはなじまない



⑩思いやりや、やさしさをみんながもてば人権問題は解決する

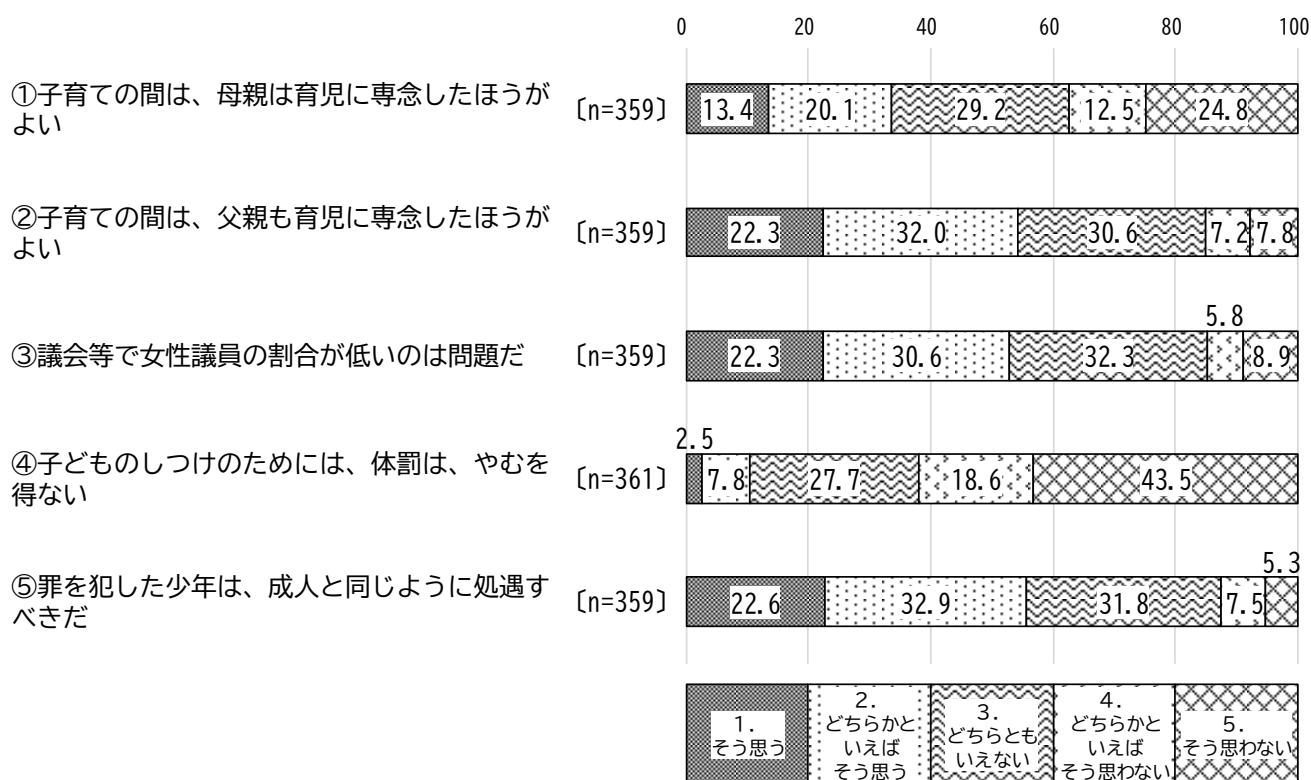


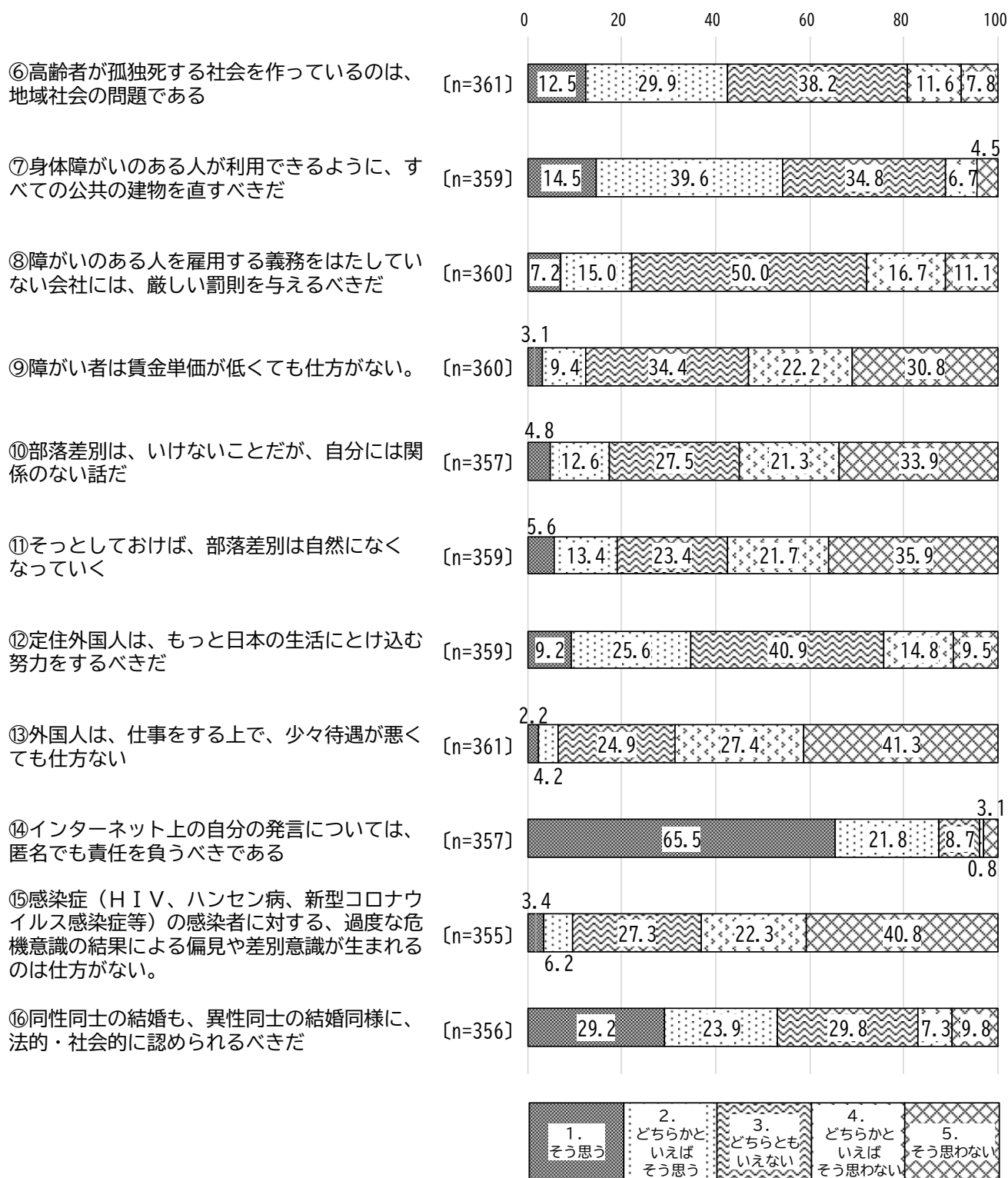
問5 人権に関する問題をめぐって、さまざまな意見があります。あなたはどのように思いますか。《択一回答》

人権問題への意見については、⑭インターネット上の自分の発言については、匿名でも責任を負うべきである、で「1. そう思う」と「2. どちらかといえばそう思う」を足した肯定的回答が90%近くに上っています。そのほか、⑤罪を犯した少年は、成人と同じように処遇すべきだ、②子育ての間は、父親も育児に専念したほうがよい、⑦身体障がいのある人が利用できるように、すべての公共の建物を直すべきだ、⑩同性同士の結婚も、異性同士の結婚同様に、法的・社会的に認められるべきだ、③議会等で女性議員の割合が低いのは問題だ、については肯定的回答が50%を超えています。

また、⑬外国人は、仕事をする上で、少々待遇が悪くても仕方がない、⑮感染症の感染者に対する、過度な危機意識の結果による偏見や差別意識が生まれるのは仕方がない、④子どものしつけのためには、体罰は、やむを得ない、で「5. そう思わない」と「4. どちらかといえばそう思わない」を足した否定的回答が60%を超え、⑨障がい者は賃金単価が低くても仕方がない、⑩部落差別は、いけないことだが、自分には関係のない話だ、⑪そっとしておけば、部落差別は自然になくなっていく、についても否定的回答が50%を超えています。

一方、①子育ての間は、母親は育児に専念したほうがよい、⑧障がいのある人を雇用する義務をはたしていない会社には、厳しい罰則を与えるべきだ、については肯定的回答と否定的回答の差が小さくなっています。





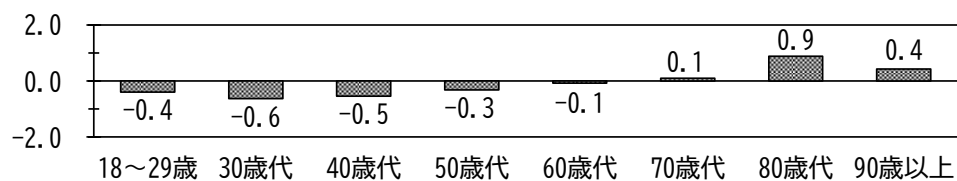
※数値は比率（％）

《肯定(否定)度による各項目の比較》

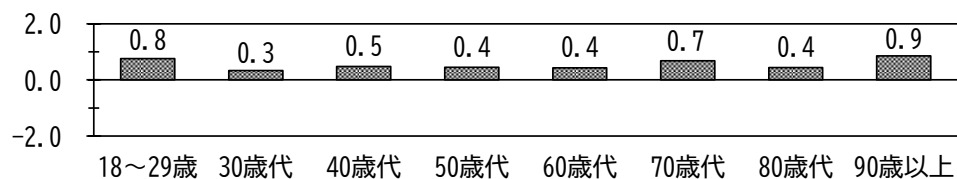
〔年齢別クロス集計〕

年齢別の傾向をみると、年齢別の差が大きいものとしては、①子育ての間は、母親は育児に専念したほうがよい、については高齢層では肯定度が高く、若年層では否定度が高くなっており、逆に⑩同性同士の結婚も、異性同士の結婚同様に、法的・社会的に認められるべきだ、については若年層では肯定度が高く、高齢層では否定度が高くなっています。また、⑦身体障がいのある人が利用できるように、すべての公共の建物を直すべきだ、については、18～29歳と70歳代では肯定度が高い一方、30～50歳代、80歳代以上では肯定度が低い傾向にあります。⑤罪を犯した少年は、成人と同じように処遇すべきだ、については、30歳代、40歳代で肯定度が高い一方、年齢が高まるにつれて肯定度が低くなっています。

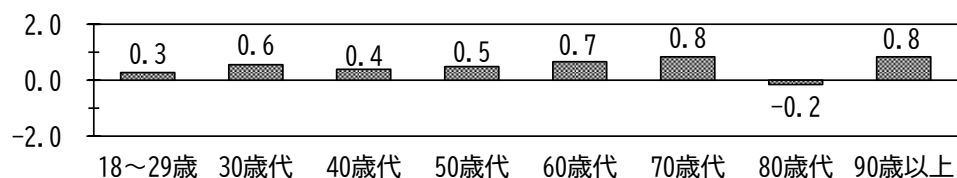
①子育ての間は、母親は育児に専念したほうがよい



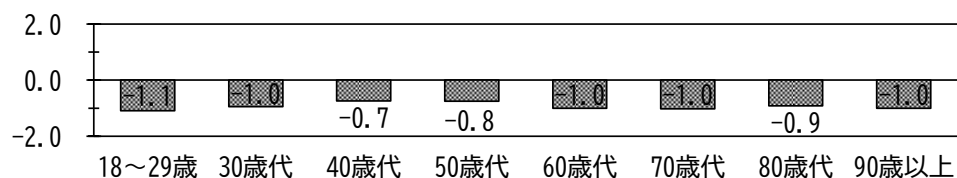
②子育ての間は、父親も育児に専念したほうがよい



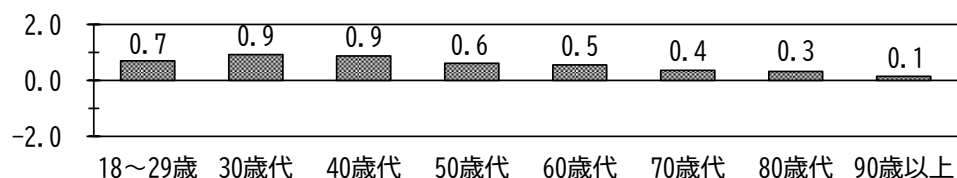
③議会等で女性議員の割合が低いのは問題だ



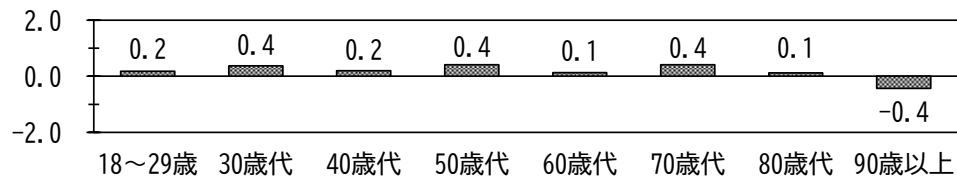
④子どものしつけのためには、体罰は、やむを得ない



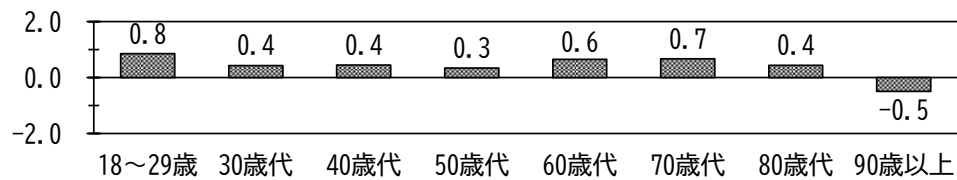
⑤罪を犯した少年は、成人と同じように処遇すべきだ



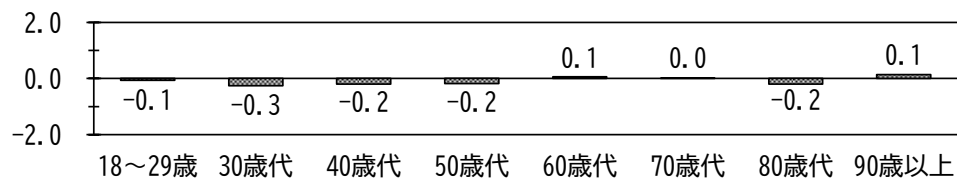
⑥高齢者が孤独死する社会を作っているのは、地域社会の問題である



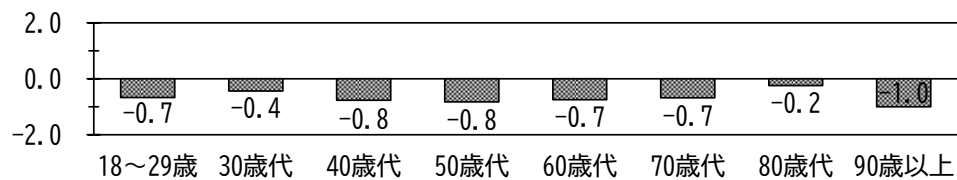
⑦身体障がいのある人が利用できるように、すべての公共の建物を直すべきだ



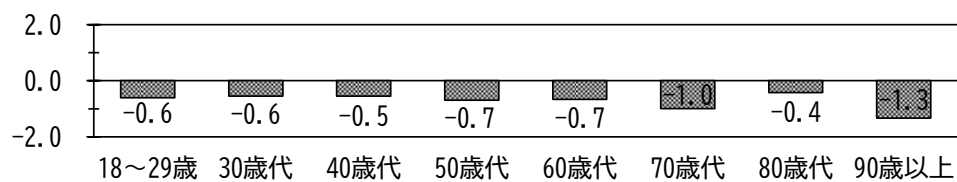
⑧障がいのある人を雇用する義務をはたしていない会社には、厳しい罰則を与えるべきだ



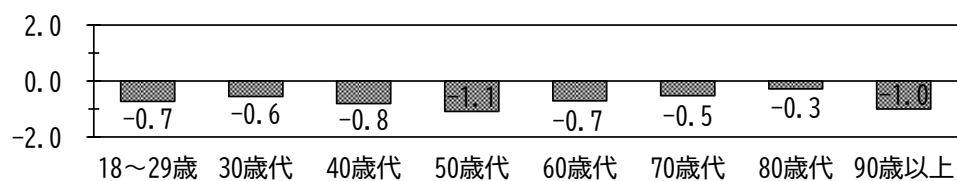
⑨障がい者は賃金単価が低くても仕方がない



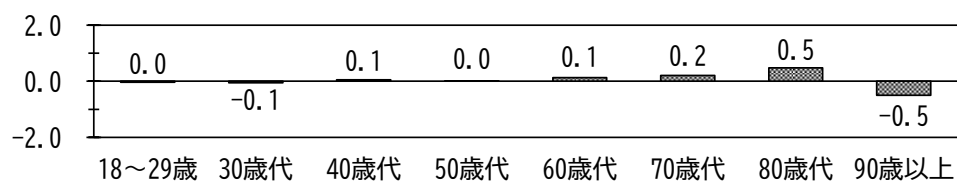
⑩部落差別は、いけないことだが、自分には関係のない話だ



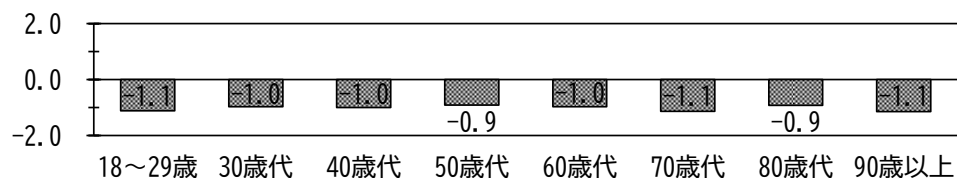
⑪そっとしておけば、部落差別は自然になくなっていく



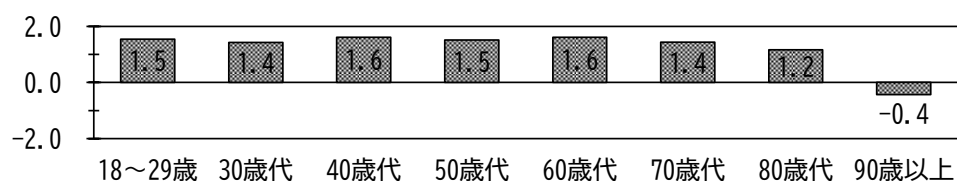
⑫定住外国人は、もっと日本の生活にとけ込む努力をするべきだ



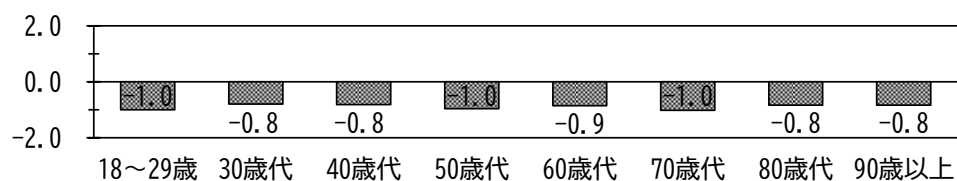
⑬外国人は、仕事をする上で、少々待遇が悪くても仕方がない



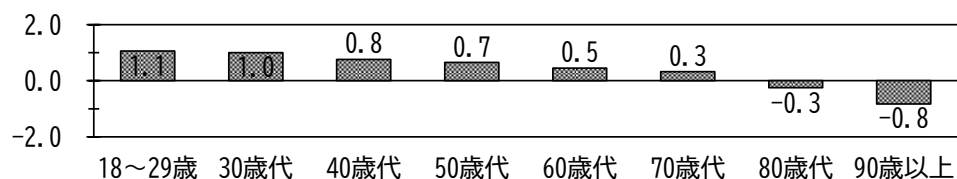
⑭インターネット上の自分の発言については、匿名でも責任を負うべきである



⑮感染症（H I V、ハンセン病、新型コロナウイルス感染症等）の感染者に対する、過度な危機意識の結果による偏見や差別意識が生まれるのは仕方がない



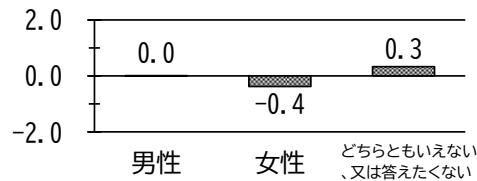
⑯同性同士の結婚も、異性同士の結婚同様に、法的・社会的に認められるべきだ



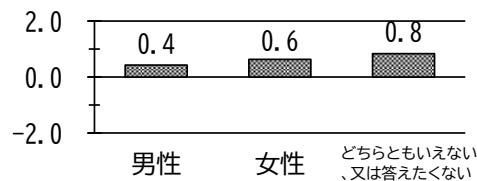
〔性別クロス集計〕

性別による傾向をみると、①子育ての間は、母親は育児に専念したほうがよい、については男性では肯定度・否定度が 0.0 である一方、女性では否定度がやや高くなっています。逆に、⑩同性同士の結婚も、異性同士の結婚同様に、法的・社会的に認められるべきだ、については男性よりも女性のほうが肯定度が高くなっています。また、④子どものしつけのためには、体罰は、やむを得ないについては、男性よりも女性のほうが否定度が高くなっています。

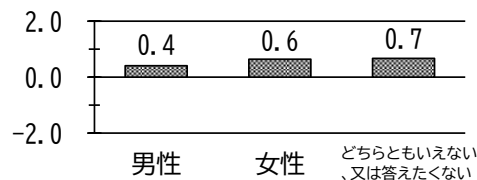
①子育ての間は、母親は育児に専念したほうがよい



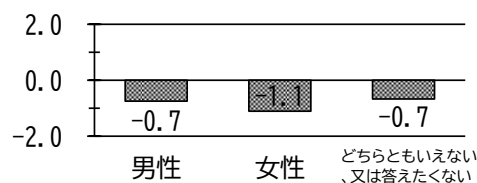
②子育ての間は、父親も育児に専念したほうがよい



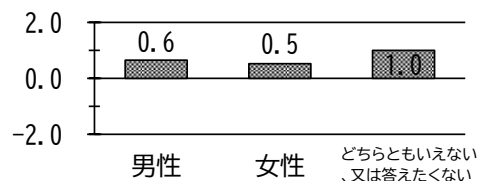
③議会等で女性議員の割合が低いのは問題だ



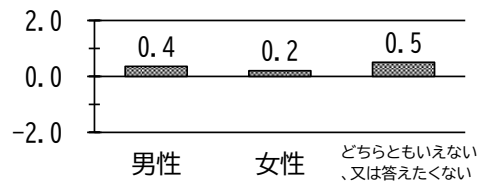
④子どものしつけのためには、体罰は、やむを得ない



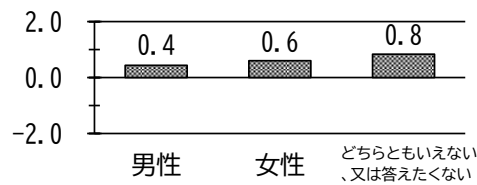
⑤罪を犯した少年は、成人と同じように処遇すべきだ



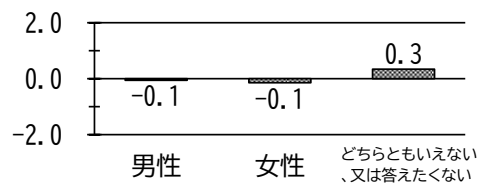
⑥高齢者が孤独死する社会を作っているのは、地域社会の問題である



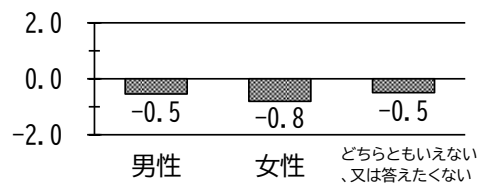
⑦身体障がいのある人が利用できるように、すべての公共の建物を直すべきだ



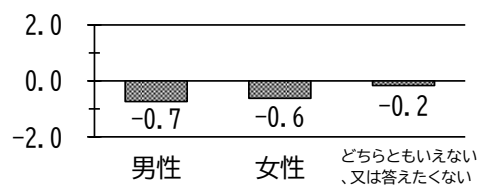
⑧障がいのある人を雇用する義務をはたしていない会社には、厳しい罰則を与えるべきだ



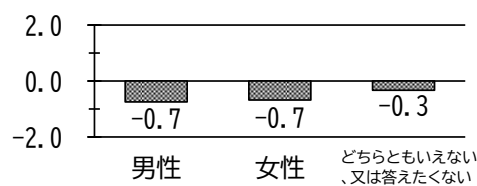
⑨障がい者は賃金単価が低くても仕方がない



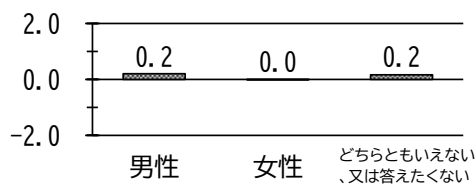
⑩部落差別は、いけないことだが、自分には関係のない話だ



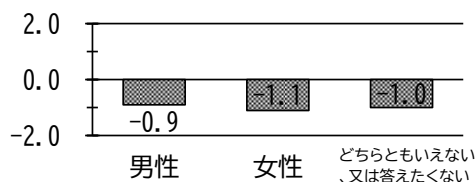
⑪そっとしておけば、部落差別は自然になくなっていく



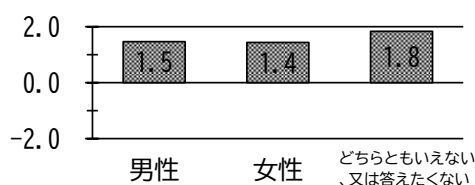
⑫定住外国人は、もっと日本の生活にとけ込む努力をするべきだ



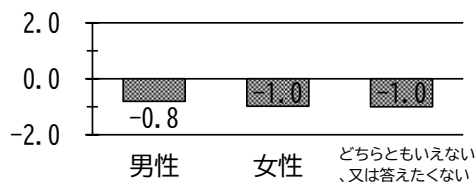
⑬外国人は、仕事をする上で、少々待遇が悪くても仕方がない



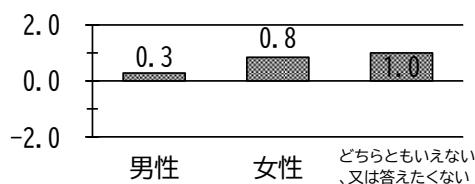
⑭インターネット上の自分の発言については、匿名でも責任を負うべきである



⑮感染症（H I V、ハンセン病、新型コロナウイルス感染症等）の感染者に対する、過度な危機意識の結果による偏見や差別意識が生まれるのは仕方がない

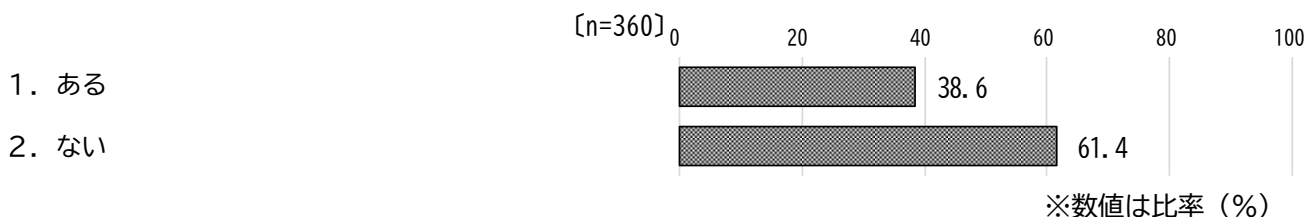


⑯同性同士の結婚も、異性同士の結婚同様に、法的・社会的に認められるべきだ



問6 あなた自身は、今までに、ご自分の人権が侵害されたと思ったことがありますか。
《択一回答》

人権侵害の経験については、「1. ある」が38.6%、「2. ない」が61.4%という結果でした。



〔年齢別クロス集計〕

年齢別の傾向をみると、「1. ある」は50歳代で高く、概ね高齢になるほど「2. ない」が高くなっています。

上段:件数 下段:比率(%)		年齢（問20）							
		18～29歳	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳代	80歳代	90歳以上
問6	n値	33	40	55	57	61	74	24	6
	1. ある	15 45.5	16 40.0	25 45.5	32 56.1	23 37.7	18 24.3	6 25.0	1 16.7
	2. ない	18 54.5	24 60.0	30 54.5	25 43.9	38 62.3	56 75.7	18 75.0	5 83.3

は全年齢の結果よりも10ポイント以上高いもの

〔性別クロス集計〕

性別による傾向をみると、「1. ある」は男性よりも女性のほうがやや高くなっています。

上段:件数 下段:比率(%)		性別（問19）		
		男性	女性	どちらともいえない、又は答えたくない
問6	n値	170	176	6
	1. ある	58 34.1	75 42.6	4 66.7
	2. ない	112 65.9	101 57.4	2 33.3

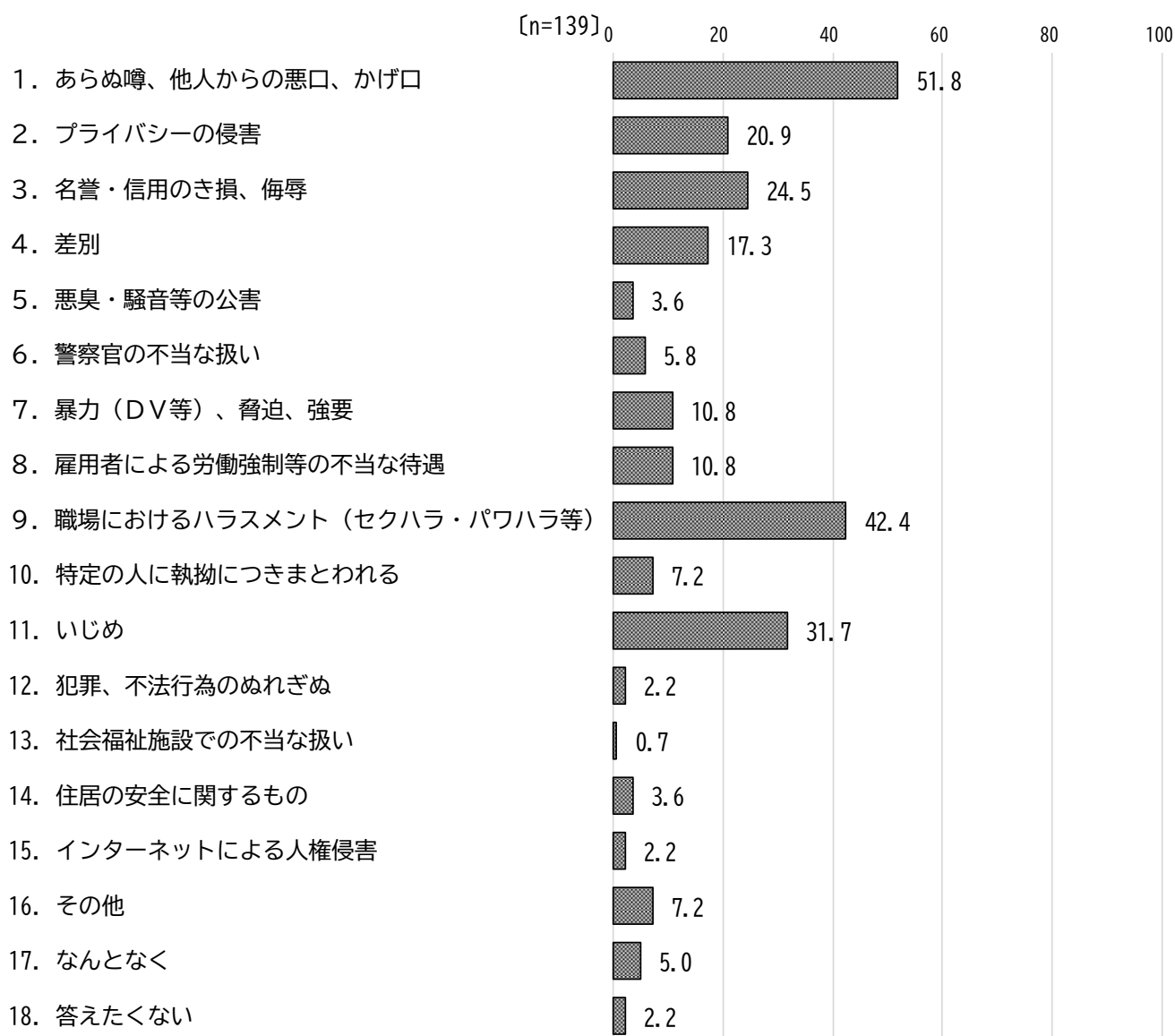
は全体結果よりも10ポイント以上高いもの

問6 で「1 ある」と答えた方にお聞きします。

問6-1 それは、どのような人権侵害ですか。差し支えなければお聞かせください。

《複数回答》

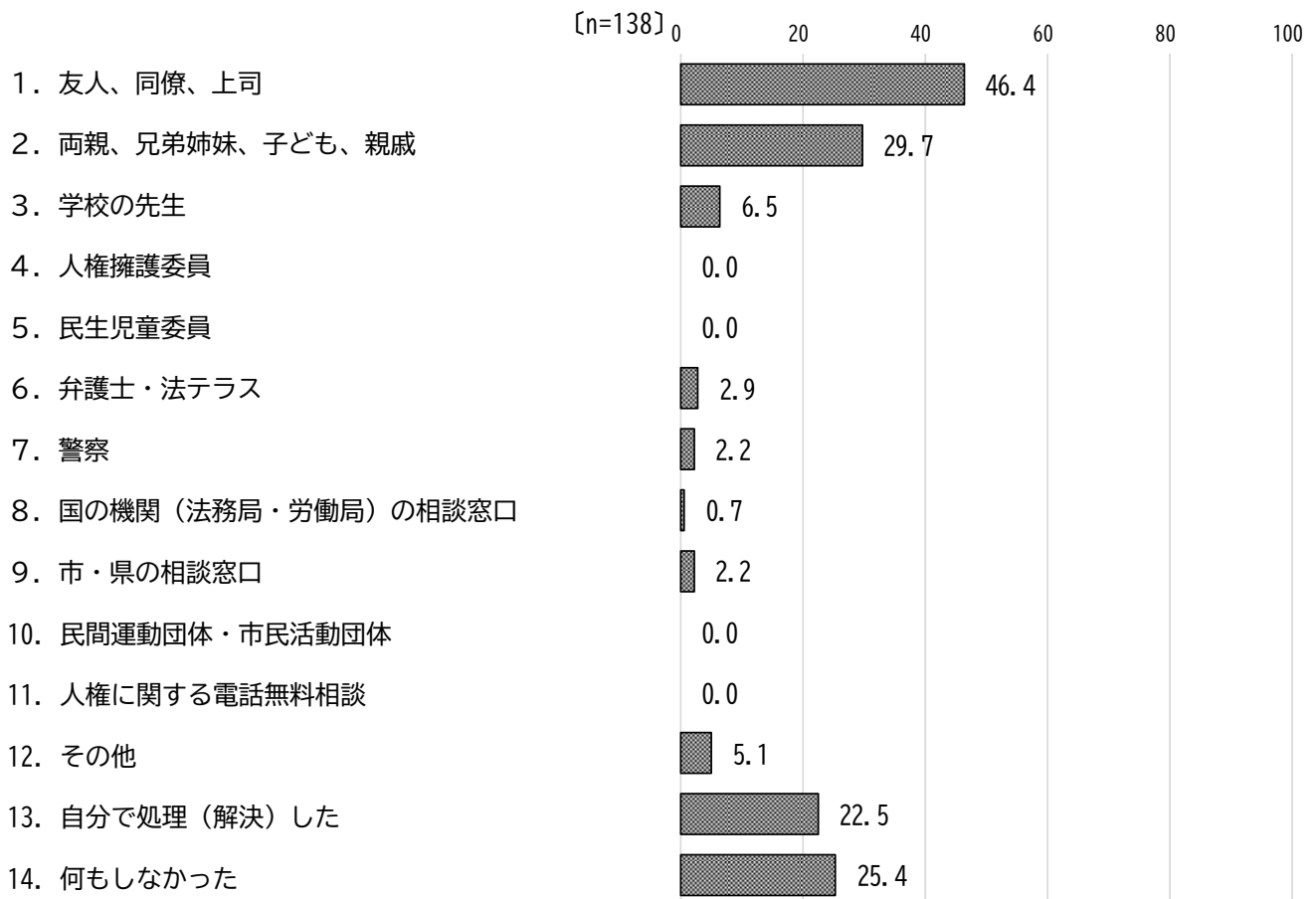
人権侵害の内容については、「1. あらぬ噂、他人からの悪口、かげ口」が51.8%で最も高く、次いで「9. 職場におけるハラスメント（セクハラ・パワハラ等）」が42.4%、「11. いじめ」が31.7%が続いています。また、「3. 名誉・信用のき損、侮辱」、「2. プライバシーの侵害」、「4. 差別」も20%前後に上っています。



※数値は比率（%）

問6-2 そのとき、だれかに相談しましたか。《複数回答》

人権侵害のあったときの相談相手については、「1. 友人、同僚、上司」が46.4%で最も高く、次いで「2. 両親、兄弟姉妹、子ども、親戚」の29.7%となっています。ほかの相談相手はいずれも10%未満であり、「13. 自分で処理（解決）した」が22.5%、「14. 何もしなかった」が25.4%となっています。

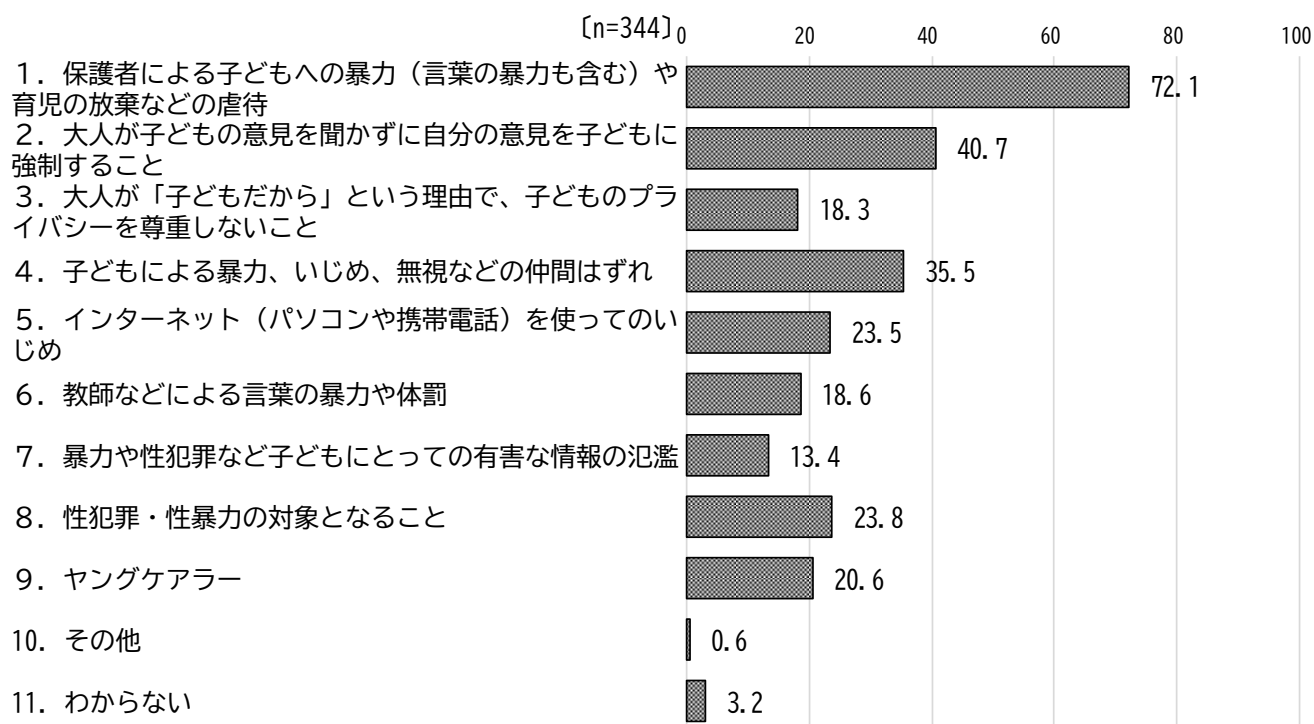


※数値は比率（%）

◇子どもの人権

問7 子どもの人権が尊重されていないと思うのは、特にどのようなことですか。
《複数回答（3つまで）》

子どもの人権が尊重されていないと思うのは、「1. 保護者による子どもへの暴力（言葉の暴力も含む）や育児の放棄などの虐待」が 72.1%で最も高くなっています。次いで、「2. 大人が子どもの意見を聞かずに自分の意見を子どもに強制すること」が 40.7%、「4. 子どもによる暴力、いじめ、無視などの仲間はずれ」が 35.5%で続いています。



※数値は比率（%）

〔年齢別クロス集計〕

年齢別の傾向をみると、「1. 保護者による子どもへの暴力（言葉の暴力も含む）や育児の放棄などの虐待」については60歳代で、「4. 子どもによる暴力、いじめ、無視などの仲間はずれ」については80歳代、60歳代でそれぞれ高くなっています。また、「2. 大人が子どもの意見を聞かずに自分の意見を子どもに強制すること」は18～29歳、30歳代の若年層で高く、「3. 大人が『子どもだから』という理由で、子どものプライバシーを尊重しないこと」も18～29歳をはじめ若くなるほど高くなる傾向にあります。また、「5. インターネット（パソコンや携帯電話）を使ってのいじめ」は40歳代、50歳代で高くなっています。

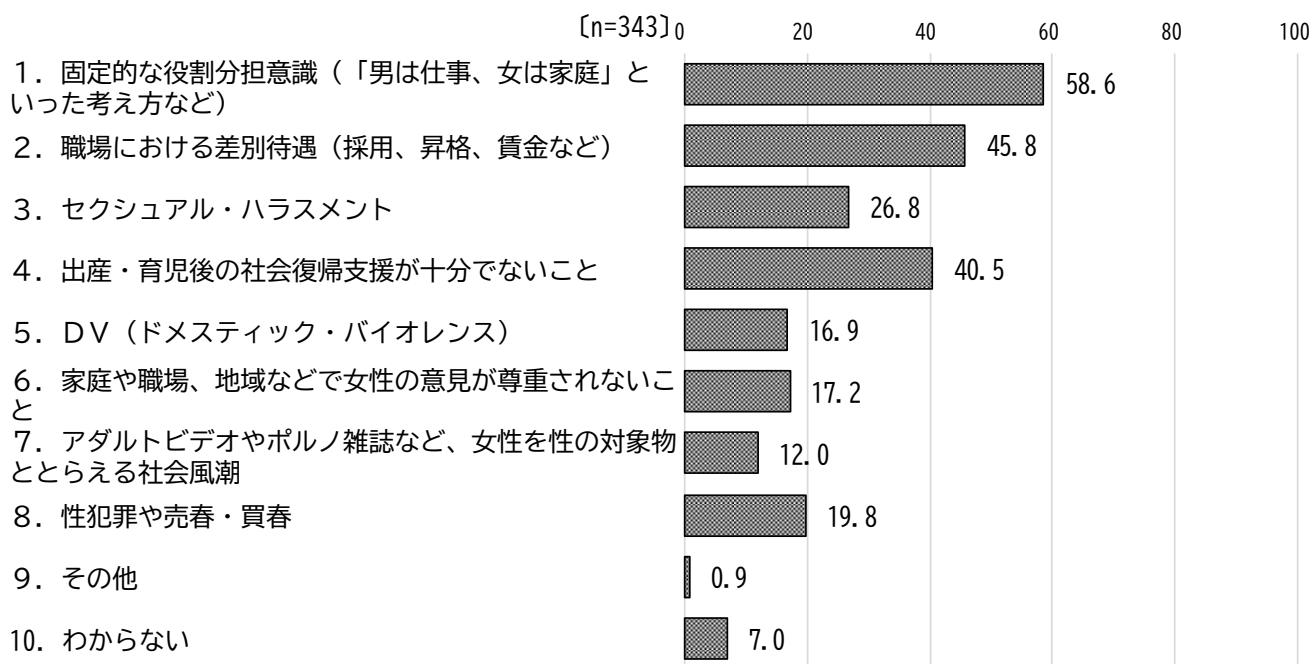
上段:件数 下段:比率(%)		年齢(問20)							
		18～29歳	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳代	80歳代	90歳以上
	n値	31	38	53	55	58	73	21	5
問7	1. 保護者による子どもへの暴力（言葉の暴力も含む）や育児の放棄などの虐待	23 74.2	28 73.7	37 69.8	35 63.6	49 84.5	51 69.9	15 71.4	3 60.0
	2. 大人が子どもの意見を聞かずに自分の意見を子どもに強制すること	22 71.0	23 60.5	18 34.0	21 38.2	18 31.0	27 37.0	5 23.8	2 40.0
	3. 大人が「子どもだから」という理由で、子どものプライバシーを尊重しないこと	11 35.5	9 23.7	11 20.8	9 16.4	9 15.5	10 13.7	2 9.5	-
	4. 子どもによる暴力、いじめ、無視などの仲間はずれ	10 32.3	11 28.9	18 34.0	17 30.9	27 46.6	27 37.0	10 47.6	-
	5. インターネット（パソコンや携帯電話）を使ってのいじめ	3 9.7	8 21.1	18 34.0	19 34.5	14 24.1	14 19.2	1 4.8	1 20.0
	6. 教師などによる言葉の暴力や体罰	3 9.7	6 15.8	10 18.9	6 10.9	11 19.0	21 28.8	5 23.8	1 20.0
	7. 暴力や性犯罪など子どもにとっての有害な情報の氾濫	-	4 10.5	8 15.1	7 12.7	6 10.3	16 21.9	3 14.3	1 20.0
	8. 性犯罪・性暴力の対象となること	5 16.1	11 28.9	13 24.5	16 29.1	14 24.1	17 23.3	5 23.8	-
	9. ヤングケアラー	10 32.3	7 18.4	8 15.1	15 27.3	12 20.7	14 19.2	3 14.3	1 20.0
	10. その他	-	-	-	-	-	2 2.7	-	-
	11. わからない	1 3.2	1 2.6	2 3.8	-	2 3.4	1 1.4	2 9.5	-

は全年齢の結果よりも10ポイント以上高いもの

◇女性の人権

問8 女性の人権が尊重されていないと思うのは、特にどのようなことですか。
《複数回答（3つまで）》

女性の人権が尊重されていないと思うのは、「1. 固定的な役割分担意識（「男は仕事、女は家庭」といった考え方など）」が58.6%で最も高く、次いで「2. 職場における差別待遇（採用、昇格、賃金など）」が45.8%、「4. 出産・育児後の社会復帰支援が十分でないこと」が40.5%で続いています。



※数値は比率（%）

〔年齢別クロス集計〕

年齢別の傾向をみると、「1. 固定的な役割分担意識（「男は仕事、女は家庭」といった考え方など）」については18～29歳で高く、40歳代でもやや高くなっています。また、「2. 職場における差別待遇（採用、昇格、賃金など）」については18～29歳や70歳代で、「4. 出産・育児後の社会復帰支援が十分でないこと」については40歳代で、それぞれ高くなっています。

そのほか、「3. セクシュアル・ハラスメント」は18～29歳で、「5. DV（ドメスティック・バイオレンス）」は60歳代で、それぞれ高くなっています。

上段:件数 下段:比率(%)		年齢（問20）							
		18～29歳	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳代	80歳代	90歳以上
問8	n値	32	39	51	57	59	71	20	5
	1. 固定的な役割分担意識（「男は仕事、女は家庭」といった考え方など）	22 68.8	22 56.4	34 66.7	34 59.6	31 52.5	38 53.5	12 60.0	3 60.0
	2. 職場における差別待遇（採用、昇格、賃金など）	19 59.4	20 51.3	25 49.0	15 26.3	25 42.4	40 56.3	6 30.0	2 40.0
	3. セクシュアル・ハラスメント	13 40.6	9 23.1	13 25.5	18 31.6	20 33.9	16 22.5	2 10.0	-
	4. 出産・育児後の社会復帰支援が十分でないこと	12 37.5	16 41.0	28 54.9	15 26.3	25 42.4	31 43.7	8 40.0	1 20.0
	5. DV（ドメスティック・バイオレンス）	2 6.3	5 12.8	7 13.7	10 17.5	17 28.8	12 16.9	2 10.0	1 20.0
	6. 家庭や職場、地域などで女性の意見が尊重されないこと	8 25.0	8 20.5	6 11.8	8 14.0	8 13.6	15 21.1	4 20.0	1 20.0
	7. アダルトビデオやポルノ雑誌など、女性を性の対象物ととらえる社会風潮	4 12.5	2 5.1	5 9.8	8 14.0	11 18.6	8 11.3	3 15.0	-
	8. 性犯罪や売春・買春	4 12.5	5 12.8	12 23.5	12 21.1	10 16.9	21 29.6	3 15.0	-
	9. その他	- -	1 2.6	1 2.0	- -	- -	1 1.4	- -	- -
	10. わからない	1 3.1	2 5.1	1 2.0	8 14.0	4 6.8	2 2.8	4 20.0	-

は全年齢の結果よりも10ポイント以上高いもの

〔性別クロス集計〕

性別による傾向をみると、「1. 固定的な役割分担意識（「男は仕事、女は家庭」といった考え方など）」、「4. 出産・育児後の社会復帰支援が十分でないこと」、「8. 性犯罪や売春・買春」、「7. アダルトビデオやポルノ雑誌など、女性を性の対象物ととらえる社会風潮」において、女性のほうが男性よりも高くなっています。

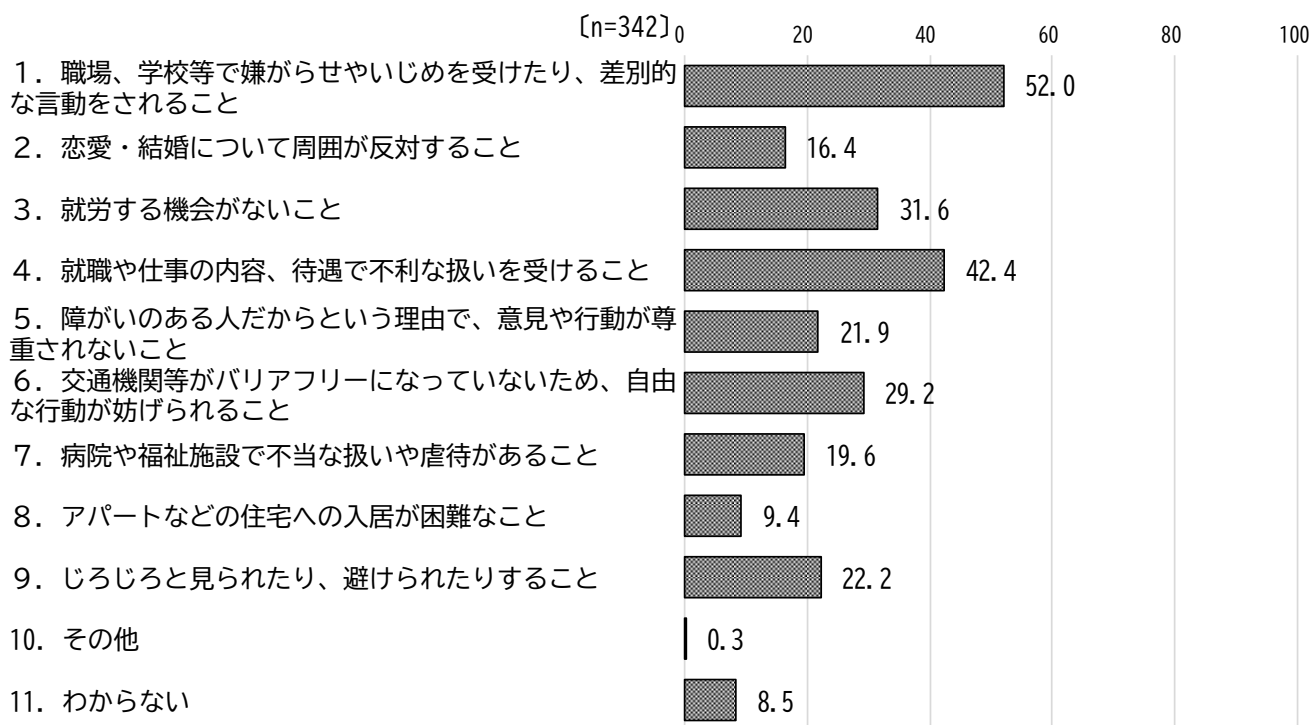
上段:件数 下段:比率(%)		性別（問19）		
		男性	女性	どちらともいえない、又は答えたくない
問 8	n値	163	168	5
	1. 固定的な役割分担意識（「男は仕事、女は家庭」といった考え方など）	89 54.6	106 63.1	3 60.0
	2. 職場における差別待遇（採用、昇格、賃金など）	76 46.6	77 45.8	2 40.0
	3. セクシュアル・ハラスメント	48 29.4	43 25.6	- -
	4. 出産・育児後の社会復帰支援が十分でないこと	63 38.7	69 41.1	5 100.0
	5. DV（ドメスティック・バイオレンス）	32 19.6	24 14.3	- -
	6. 家庭や職場、地域などで女性の意見が尊重されないこと	31 19.0	27 16.1	- -
	7. アダルトビデオやポルノ雑誌など、女性を性の対象物ととらえる社会風潮	12 7.4	28 16.7	- -
	8. 性犯罪や売春・買春	23 14.1	42 25.0	2 40.0
	9. その他	2 1.2	1 0.6	- -
	10. わからない	17 10.4	5 3.0	- -

は全体結果よりも10ポイント以上高いもの

◇障がいのある人の人権

問9 障がいのある人の人権が尊重されていないと思うのは、特にどのようなことですか。
《複数回答（3つまで）》

障がいのある人の人権が尊重されていないと思うのは、「1. 職場、学校等で嫌がらせやいじめを受けたり、差別的な言動をされること」が52.0%で最も高く、「4. 就職や仕事の内容、待遇で不利な扱いを受けること」が42.4%で続きます。また、「3. 就労する機会がないこと」や「6. 交通機関等がバリアフリーになっていないため、自由な行動が妨げられること」が30%前後に上ります。



※数値は比率 (%)

〔年齢別クロス集計〕

年齢別の傾向をみると、「1. 職場、学校等で嫌がらせやいじめを受けたり、差別的な言動をされること」と「5. 障がいのある人だからという理由で、意見や行動が尊重されないこと」については18～29歳、30歳代といった若年層が高くなっています。一方で、「4. 就職や仕事の内容、待遇で不利な扱いを受けること」と「6. 交通機関等がバリアフリーになっていないため、自由な行動が妨げられること」は60歳代で、それぞれ高くなっています。また、「3. 就労する機会がないこと」は全年齢の回答が概ね平均的です。

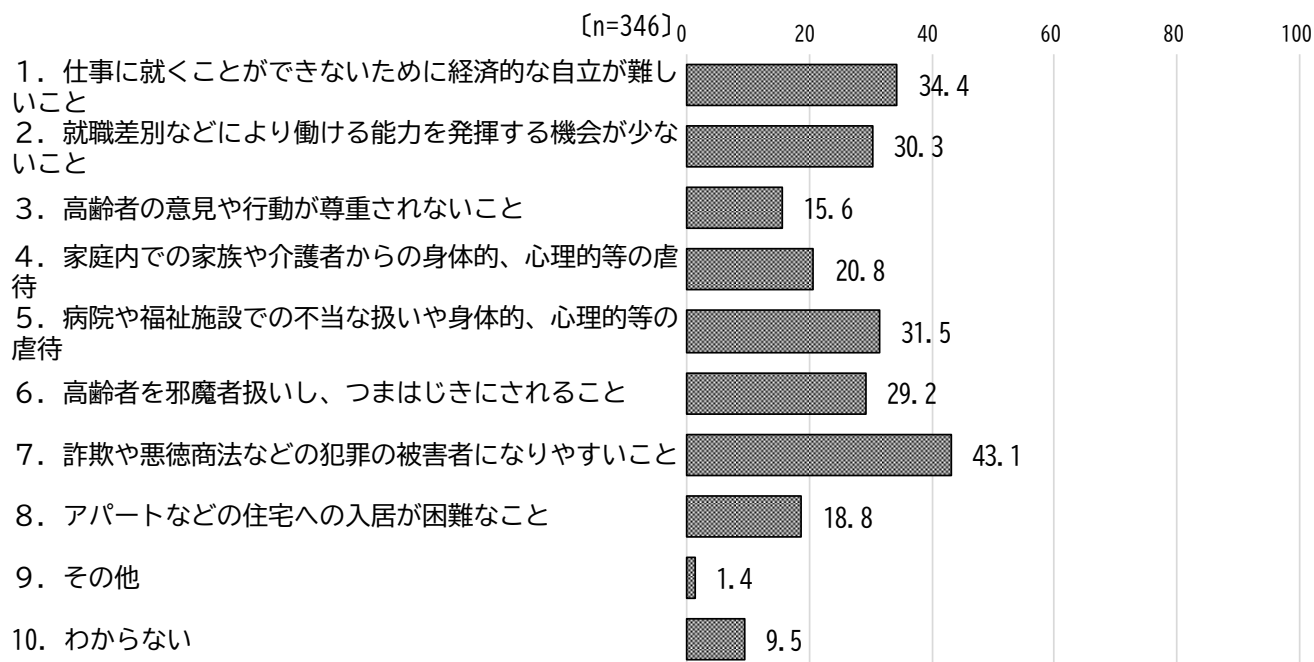
上段:件数 下段:比率(%)		年齢(問20)							
		18～29歳	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳代	80歳代	90歳以上
問9	n値	32	40	53	56	56	69	22	5
	1. 職場、学校等で嫌がらせやいじめを受けたり、差別的な言動をされること	22 68.8	27 67.5	30 56.6	18 32.1	29 51.8	39 56.5	8 36.4	1 20.0
	2. 恋愛・結婚について周囲が反対すること	4 12.5	6 15.0	11 20.8	12 21.4	6 10.7	10 14.5	6 27.3	- -
	3. 就労する機会がないこと	12 37.5	15 37.5	12 22.6	20 35.7	16 28.6	21 30.4	8 36.4	- -
	4. 就職や仕事の内容、待遇で不利な扱いを受けること	8 25.0	16 40.0	22 41.5	26 46.4	32 57.1	30 43.5	8 36.4	1 20.0
	5. 障がいのある人だからという理由で、意見や行動が尊重されないこと	11 34.4	13 32.5	12 22.6	10 17.9	12 21.4	11 15.9	2 9.1	2 40.0
	6. 交通機関等がバリアフリーになっていないため、自由な行動が妨げられること	11 34.4	9 22.5	16 30.2	14 25.0	22 39.3	21 30.4	5 22.7	1 20.0
	7. 病院や福祉施設で不当な扱いや虐待があること	6 18.8	10 25.0	10 18.9	9 16.1	11 19.6	18 26.1	1 4.5	1 20.0
	8. アパートなどの住宅への入居が困難なこと	1 3.1	4 10.0	4 7.5	7 12.5	3 5.4	7 10.1	2 9.1	- -
	9. じろじろと見られたり、避けられたりすること	8 25.0	6 15.0	15 28.3	8 14.3	16 28.6	14 20.3	7 31.8	1 20.0
	10. その他	- -	- -	- -	- -	1 1.8	- -	- -	- -
	11. わからない	2 6.3	1 2.5	5 9.4	6 10.7	3 5.4	6 8.7	3 13.6	1 20.0

は全年齢の結果よりも10ポイント以上高いもの

◇高齢者の人権

問 10 高齢者の人権が尊重されていないと思うのは、特にどのようなことですか。
《複数回答（3つまで）》

高齢者の人権が尊重されていないと思うのは、「7. 詐欺や悪徳商法などの犯罪の被害者になりやすいこと」が43.1%で最も高く、「1. 仕事に就くことができないために経済的な自立が難しいこと」が34.4%で続きます。また、「5. 病院や福祉施設での不当な扱いや身体的、心理的等の虐待」、「2. 就職差別などにより働ける能力を発揮する機会が少ないこと」、「6. 高齢者を邪魔者扱いし、つまはじきにされること」が30%前後に上ります。



※数値は比率 (%)

〔年齢別クロス集計〕

年齢別の傾向をみると、「7. 詐欺や悪徳商法などの犯罪の被害者になりやすいこと」については80歳代で高いほか、「1. 仕事に就くことができないために経済的な自立が難しいこと」は50歳代で高くなっています。また、「2. 就職差別などにより働ける能力を発揮する機会が少ないこと」と「6. 高齢者を邪魔者扱いし、つまはじきにされること」は60歳代で、「4. 家庭内での家族や介護者からの身体的、心理的等の虐待」は18～29歳で、それぞれ高くなっています。

一方、「10. わからない」は30歳代で高くなっています。

上段:件数 下段:比率(%)		年齢(問20)							
		18～29歳	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳代	80歳代	90歳以上
問10	n値	33	40	53	56	59	69	22	5
	1. 仕事に就くことができないために経済的な自立が難しいこと	13 39.4	11 27.5	17 32.1	25 44.6	20 33.9	21 30.4	7 31.8	2 40.0
	2. 就職差別などにより働ける能力を発揮する機会が少ないこと	9 27.3	6 15.0	15 28.3	20 35.7	28 47.5	19 27.5	6 27.3	1 20.0
	3. 高齢者の意見や行動が尊重されないこと	6 18.2	6 15.0	6 11.3	5 8.9	14 23.7	10 14.5	4 18.2	1 20.0
	4. 家庭内での家族や介護者からの身体的、心理的等の虐待	12 36.4	10 25.0	15 28.3	7 12.5	9 15.3	13 18.8	5 22.7	-
	5. 病院や福祉施設での不当な扱いや身体的、心理的等の虐待	13 39.4	15 37.5	16 30.2	19 33.9	19 32.2	23 33.3	2 9.1	1 20.0
	6. 高齢者を邪魔者扱いし、つまはじきにされること	12 36.4	10 25.0	14 26.4	14 25.0	26 44.1	19 27.5	4 18.2	-
	7. 詐欺や悪徳商法などの犯罪の被害者になりやすいこと	11 33.3	19 47.5	23 43.4	24 42.9	21 35.6	33 47.8	12 54.5	1 20.0
	8. アパートなどの住宅への入居が困難なこと	1 3.0	3 7.5	9 17.0	12 21.4	16 27.1	16 23.2	4 18.2	1 20.0
	9. その他	-	-	1 1.9	1 1.8	-	2 2.9	-	1 20.0
	10. わからない	4 12.1	9 22.5	6 11.3	3 5.4	1 1.7	6 8.7	2 9.1	-

は全年齢の結果よりも10ポイント以上高いもの

〔家族形態別クロス集計〕

家族形態別の傾向をみると、「7. 詐欺や悪徳商法などの犯罪の被害者になりやすいこと」が3世代世帯で、「8. アパートなどの住宅への入居が困難なこと」が単身世帯で、それぞれ高くなっています。

上段:件数 下段:比率(%)		世帯形態(問21)				
		単身世帯	1世代世帯	2世代世帯	3世代世帯	その他
問 10	n値	34	100	170	25	7
	1. 仕事に就くことができないために経済的な自立が難しいこと	11 32.4	28 28.0	63 37.1	9 36.0	4 57.1
	2. 就職差別などにより働ける能力を発揮する機会が少ないこと	13 38.2	29 29.0	56 32.9	5 20.0	1 14.3
	3. 高齢者の意見や行動が尊重されないこと	5 14.7	19 19.0	20 11.8	6 24.0	2 28.6
	4. 家庭内での家族や介護者からの身体的、心理的等の虐待	9 26.5	19 19.0	37 21.8	4 16.0	2 28.6
	5. 病院や福祉施設での不当な扱いや身体的、心理的等の虐待	7 20.6	32 32.0	59 34.7	7 28.0	1 14.3
	6. 高齢者を邪魔者扱いし、つまはじきにされること	12 35.3	26 26.0	51 30.0	7 28.0	2 28.6
	7. 詐欺や悪徳商法などの犯罪の被害者になりやすいこと	12 35.3	40 40.0	76 44.7	14 56.0	2 28.6
	8. アパートなどの住宅への入居が困難なこと	10 29.4	26 26.0	20 11.8	5 20.0	2 28.6
	9. その他	2 5.9	1 1.0	2 1.2	-	-
	10. わからない	3 8.8	9 9.0	18 10.6	-	1 14.3

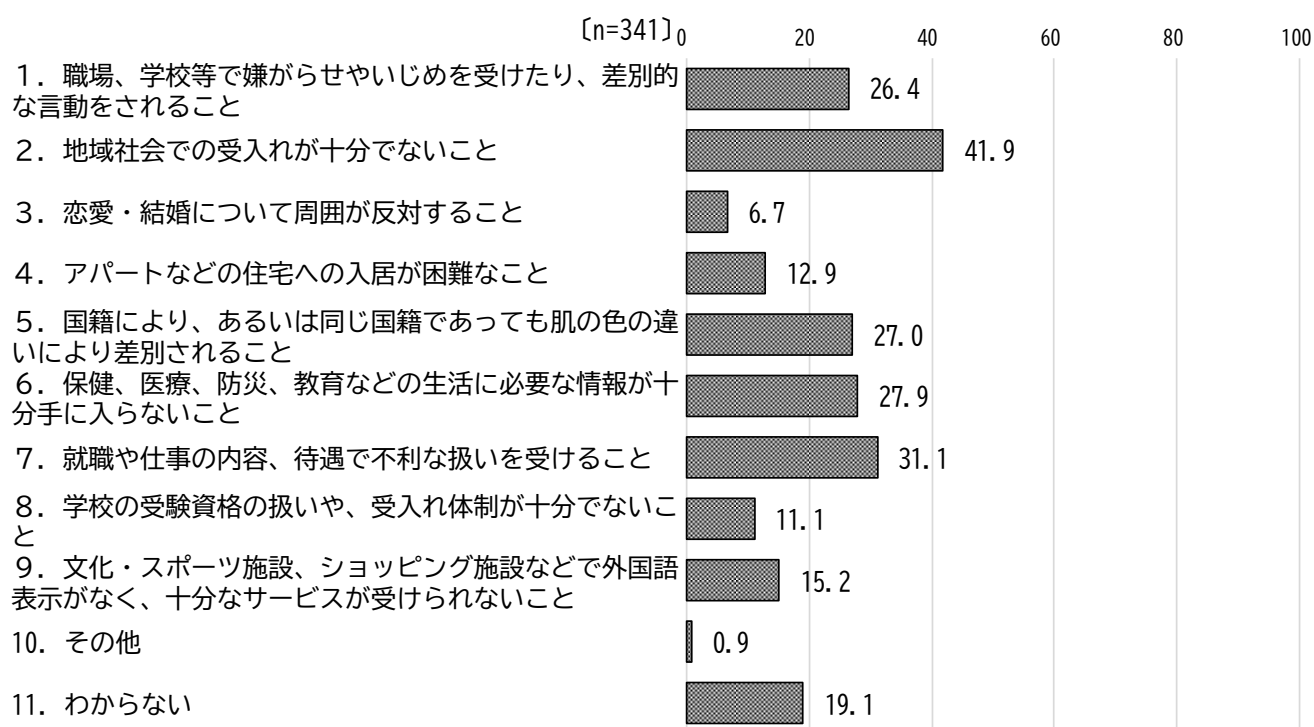
は全世帯の結果よりも10ポイント以上高いもの

◇外国人の人権

問 11 外国人の人権が尊重されていないと思うのは、特にどのようなことですか。
《複数回答（3つまで）》

外国人の人権が尊重されていないと思うのは、「2. 地域社会での受入れが十分でないこと」が41.9%で最も高くなっています。次いで、「7. 就職や仕事の内容、待遇で不利な扱いを受けること」、「6. 保健、医療、防災、教育などの生活に必要な情報が十分手に入らないこと」、「5. 国籍により、あるいは同じ国籍であっても肌の色の違いにより差別されること」、「1. 職場、学校等で嫌がらせやいじめを受けたり、差別的な言動をされること」は30%前後に上ります。

一方、「11. わからない」も19.1%となっています。



※数値は比率 (%)

〔年齢別クロス集計〕

年齢別の傾向をみると、「2. 地域社会での受入れが十分でないこと」については 60 歳代で高くなっています。また、「5. 国籍により、あるいは同じ国籍であっても肌の色の違いにより差別されること」については 18～29 歳と 30 歳代で高いほか、「7. 就職や仕事の内容、待遇で不利な扱いを受けること」、「1. 職場、学校等で嫌がらせやいじめを受けたり、差別的な言動をされること」、「8. 学校の受験資格の扱いや、受入れ体制が十分でないこと」では 18～29 歳が、「3. 恋愛・結婚について周囲が反対すること」では 30 歳代が、それぞれ高くなっています。

一方、「11. わからない」は 80 歳代で高くなっています。

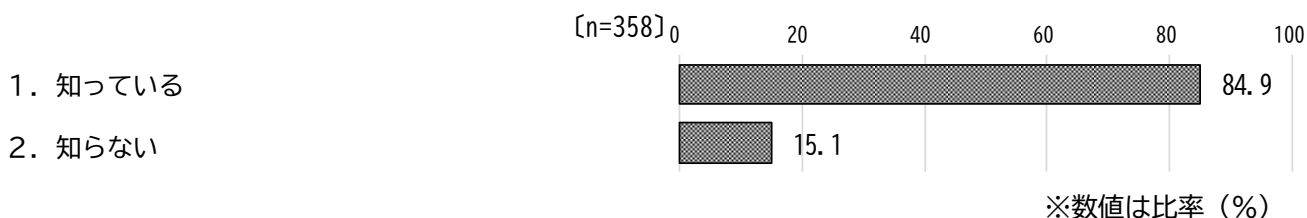
上段:件数 下段:比率(%)		年齢(問20)							
		18～29 歳	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳代	80歳代	90歳以上
問 11	n値	32	40	54	55	56	70	20	4
	1. 職場、学校等で嫌がらせやいじめを受けたり、差別的な言動をされること	15 46.9	12 30.0	13 24.1	13 23.6	12 21.4	17 24.3	4 20.0	1 25.0
	2. 地域社会での受入れが十分でないこと	13 40.6	14 35.0	19 35.2	22 40.0	30 53.6	30 42.9	10 50.0	2 50.0
	3. 恋愛・結婚について周囲が反対すること	2 6.3	8 20.0	4 7.4	4 7.3	1 1.8	2 2.9	2 10.0	-
	4. アパートなどの住宅への入居が困難なこと	4 12.5	7 17.5	10 18.5	4 7.3	3 5.4	10 14.3	4 20.0	-
	5. 国籍により、あるいは同じ国籍であっても肌の色の違いにより差別されること	12 37.5	18 45.0	12 22.2	10 18.2	15 26.8	19 27.1	3 15.0	-
	6. 保健、医療、防災、教育などの生活に必要な情報が十分手に入らないこと	8 25.0	6 15.0	17 31.5	13 23.6	20 35.7	23 32.9	5 25.0	-
	7. 就職や仕事の内容、待遇で不利な扱いを受けること	14 43.8	11 27.5	15 27.8	19 34.5	22 39.3	23 32.9	1 5.0	1 25.0
	8. 学校の受験資格の扱いや、受入れ体制が十分でないこと	7 21.9	3 7.5	4 7.4	8 14.5	7 12.5	8 11.4	1 5.0	-
	9. 文化・スポーツ施設、ショッピング施設などで外国語表示がなく、十分なサービスが受けられないこと	4 12.5	5 12.5	7 13.0	8 14.5	8 14.3	12 17.1	5 25.0	1 25.0
	10. その他	-	-	1 1.9	1 1.8	-	-	1 5.0	-
	11. わからない	3 9.4	6 15.0	11 20.4	12 21.8	9 16.1	14 20.0	6 30.0	1 25.0

は全年齢の結果よりも10ポイント以上高いもの

◇部落差別について

問 12 あなたは、日本の社会の中に差別を受けてきた地区があること、あるいは「部落差別」といわれる課題があることを知っていますか。《択一回答》

部落差別についての認知度については、「1. 知っている」が 84.9%に上り、「2. 知らない」が 15.1%となっています。



〔年齢別クロス集計〕

年齢別の傾向をみると、80 歳代で「2. 知らない」が高くなっているものの、ほかの年齢層では概ね 80%以上が「1. 知っている」としています。

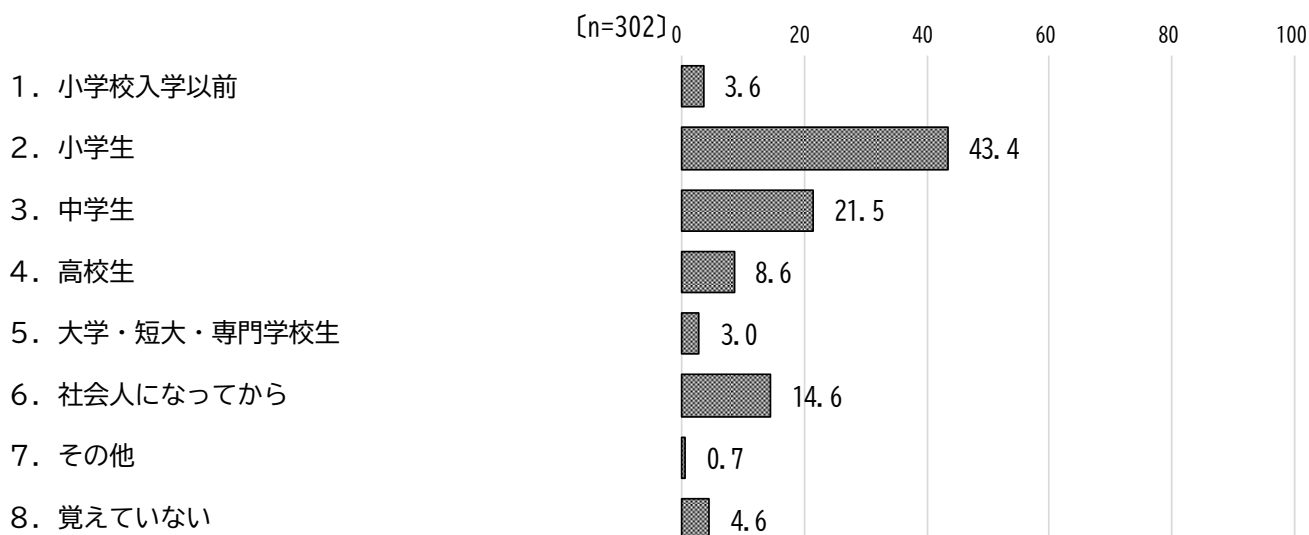
上段: 件数 下段: 比率 (%)		年齢 (問20)							
		18~29 歳	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳代	80歳代	90歳以上
問 12	n値	33	40	55	57	61	73	22	7
	1. 知っている	26 78.8	32 80.0	49 89.1	51 89.5	52 85.2	64 87.7	15 68.2	7 100.0
	2. 知らない	7 21.2	8 20.0	6 10.9	6 10.5	9 14.8	9 12.3	7 31.8	-

は全年齢の結果よりも10ポイント以上高いもの

問12 で「1. 知っている」と答えた方にお聞きします。

問12-1 あなたが、部落差別について、初めて知ったのはいつ頃ですか。《択一回答》

部落差別について知った時期については、「2. 小学生」が43.4%で最も高く、次いで「3. 中学生」が21.5%、「6. 社会人になってから」が14.6%が続いています。



※数値は比率 (%)

〔年齢別クロス集計〕

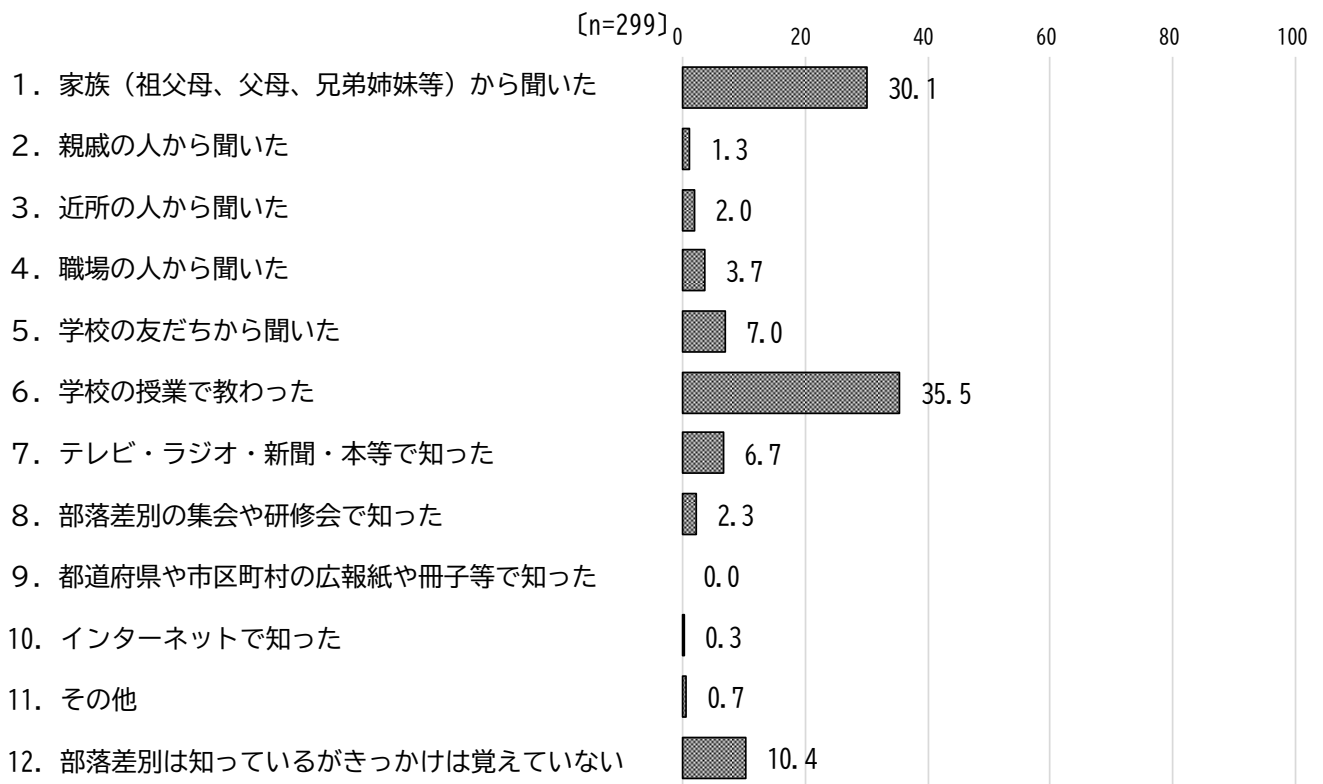
年齢別の傾向をみると、「2. 小学生」は30歳代、40歳代をはじめとする若年層で高い傾向があります。一方、「3. 中学生」は80歳代で、「6. 社会人になってから」は70歳代で、それぞれ高くなっています。

上段:件数 下段:比率(%)		年齢 (問20)							
		18~29歳	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳代	80歳代	90歳以上
問12-1	n値	26	32	49	51	52	63	15	6
	1. 小学校入学以前	-	1	-	3	3	-	2	2
		-	3.1	-	5.9	5.8	-	13.3	33.3
	2. 小学生	13	22	29	27	17	17	1	-
		50.0	68.8	59.2	52.9	32.7	27.0	6.7	-
	3. 中学生	6	4	10	7	14	15	7	1
		23.1	12.5	20.4	13.7	26.9	23.8	46.7	16.7
	4. 高校生	5	1	-	4	9	6	1	-
		19.2	3.1	-	7.8	17.3	9.5	6.7	-
	5. 大学・短大・専門学校生	-	-	3	3	1	2	-	-
		-	-	6.1	5.9	1.9	3.2	-	-
	6. 社会人になってから	-	4	3	6	8	19	3	-
		-	12.5	6.1	11.8	15.4	30.2	20.0	-
	7. その他	-	-	-	-	-	2	-	-
		-	-	-	-	-	3.2	-	-
	8. 覚えていない	2	-	4	1	-	2	1	3
		7.7	-	8.2	2.0	-	3.2	6.7	50.0

は全年齢の結果よりも10ポイント以上高いもの

問 12-2 あなたが、部落差別について、初めて知ったきっかけは何からですか。
《択一回答》

部落差別を知ったきっかけは、「6. 学校の授業で教わった」が 35.5%、「1. 家族（祖父母、父母、兄弟姉妹等）から聞いた」が 30.1%でそれぞれ高くなっています。



※数値は比率（%）

〔年齢別クロス集計〕

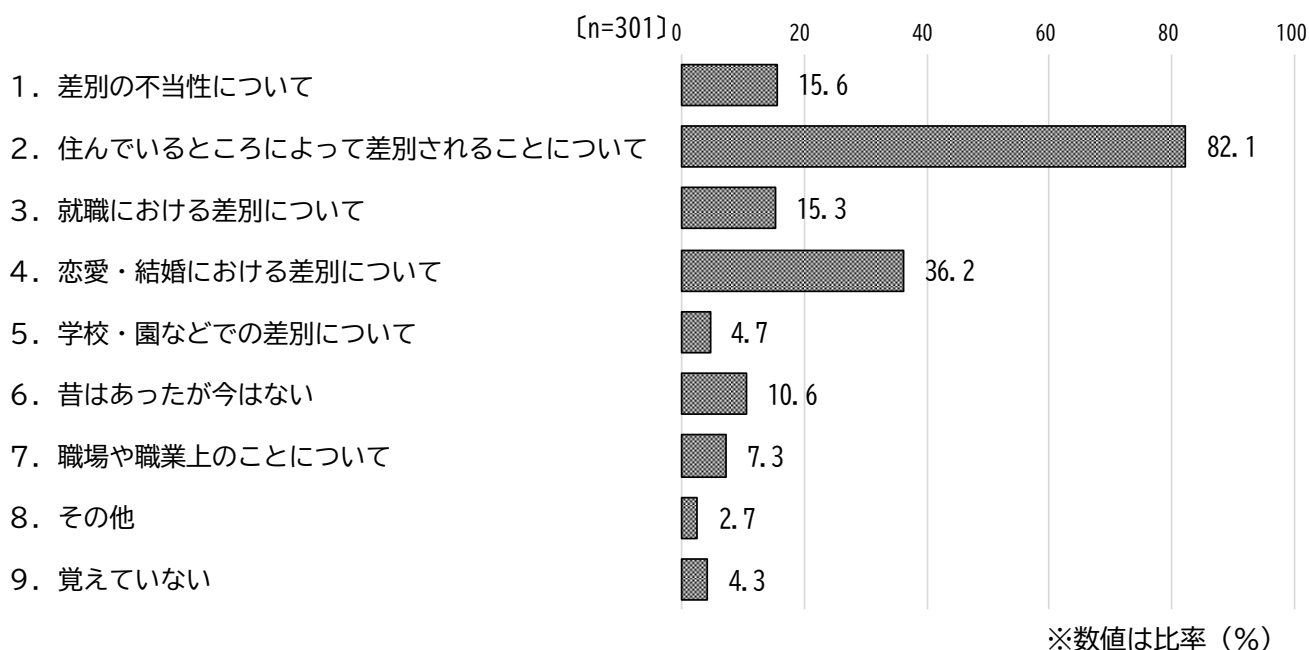
年齢別の傾向をみると、「6. 学校の授業で教わった」は40歳代以下で高い傾向があり、「1. 家族（祖父母、父母、兄弟姉妹等）から聞いた」は60歳代をはじめとする50～80歳代で高い傾向にあります。

上段:件数 下段:比率(%)		年齢(問20)							
		18～29歳	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳代	80歳代	90歳以上
問12-2	n値	26	31	47	51	52	63	14	7
	1. 家族（祖父母、父母、兄弟姉妹等）から聞いた	1 3.8	2 6.5	14 29.8	18 35.3	23 44.2	23 36.5	5 35.7	2 28.6
	2. 親戚の人から聞いた	-	-	1 2.1	1 2.0	1 1.9	-	1 7.1	-
	3. 近所の人から聞いた	-	-	-	-	-	5 7.9	1 7.1	-
	4. 職場の人から聞いた	-	2 6.5	-	1 2.0	1 1.9	6 9.5	-	-
	5. 学校の友だちから聞いた	1 3.8	1 3.2	3 6.4	4 7.8	5 9.6	6 9.5	1 7.1	-
	6. 学校の授業で教わった	24 92.3	23 74.2	26 55.3	16 31.4	10 19.2	1 1.6	1 7.1	-
	7. テレビ・ラジオ・新聞・本等で知った	-	1 3.2	1 2.1	5 9.8	8 15.4	3 4.8	-	2 28.6
	8. 部落差別の集会や研修会で知った	-	1 3.2	-	1 2.0	-	5 7.9	-	-
	9. 都道府県や市区町村の広報紙や冊子等で知った	-	-	-	-	-	-	-	-
	10. インターネットで知った	-	1 3.2	-	-	-	-	-	-
	11. その他	-	-	-	-	-	2 3.2	-	-
	12. 部落差別は知っているがきっかけは覚えていない	-	-	2 4.3	5 9.8	4 7.7	12 19.0	5 35.7	3 42.9

は全年齢の結果よりも10ポイント以上高いもの

問 12-3 あなたが、初めて聞いた内容はどのようなことですか。《複数回答》

部落差別について聞いた内容については、「2. 住んでいるところによって差別されることについて」が 82.1%と高くなっています。次いで、「4. 恋愛・結婚における差別について」が 36.2%で続きます。



〔年齢別クロス集計〕

年齢別の傾向をみると、「2. 住んでいるところによって差別されることについて」は全年齢で高い傾向にあり、「4. 恋愛・結婚における差別について」は 60 歳代、70 歳代で高くなっています。

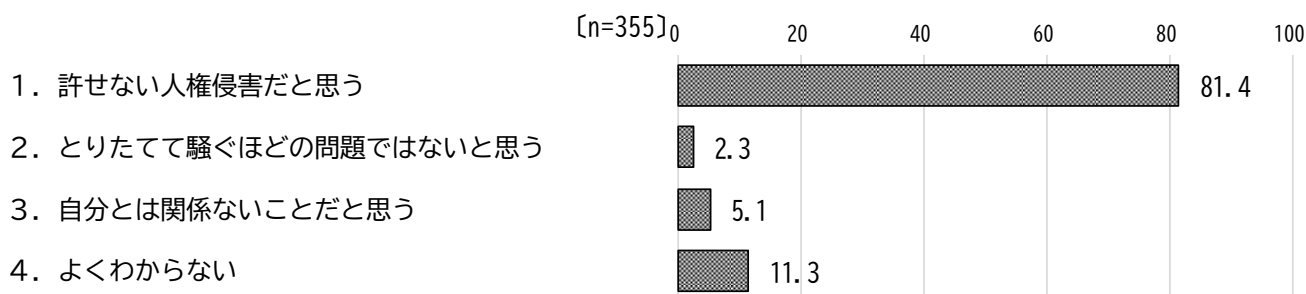
上段:件数 下段:比率(%)		年齢(問20)							
		18~29 歳	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳代	80歳代	90歳以上
問 12 3	n値	26	32	48	51	52	63	15	6
	1. 差別の不当性について	5 19.2	5 15.6	9 18.8	7 13.7	11 21.2	6 9.5	2 13.3	2 33.3
	2. 住んでいるところによって差別 されることについて	20 76.9	27 84.4	44 91.7	44 86.3	42 80.8	48 76.2	13 86.7	2 33.3
	3. 就職における差別について	2 7.7	8 25.0	7 14.6	10 19.6	9 17.3	5 7.9	3 20.0	-
	4. 恋愛・結婚における差別につ いて	7 26.9	5 15.6	12 25.0	19 37.3	26 50.0	32 50.8	3 20.0	2 33.3
	5. 学校・園などでの差別について	-	1 3.1	4 8.3	3 5.9	3 5.8	2 3.2	1 6.7	-
	6. 昔はあったが今はない	2 7.7	1 3.1	5 10.4	3 5.9	3 5.8	10 15.9	2 13.3	2 33.3
	7. 職場や職業上のことについて	-	1 3.1	5 10.4	3 5.9	5 9.6	5 7.9	2 13.3	1 16.7
	8. その他	1 3.8	-	-	3 5.9	2 3.8	2 3.2	-	-
	9. 覚えていない	2 7.7	2 6.3	1 2.1	3 5.9	1 1.9	2 3.2	-	2 33.3

は全年齢の結果よりも10ポイント以上高いもの

◇インターネット等による人権について

問 13 最近、インターネットにある、不特定の人が閲覧できる掲示板で、個人を誹謗・中傷するような内容が開示されることがあります。このような書き込みについて、あなたはどのように思いますか。《択一回答》

インターネットにおける誹謗・中傷については、「1. 許せない人権侵害だと思う」が81.4%と高くなっています。



※数値は比率 (%)

〔年齢別クロス集計〕

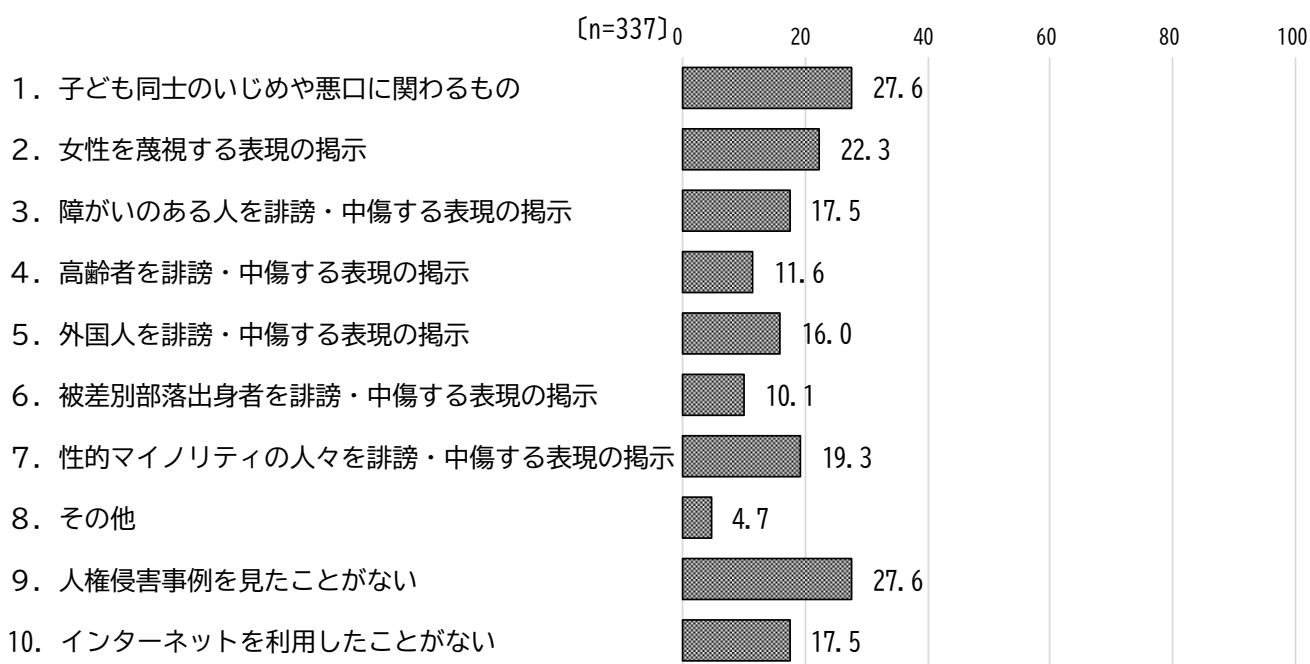
年齢別の傾向をみると、80歳代以上では「4. よくわからない」が高い傾向がありますが、概ねどの年齢層においても「1. 許せない人権侵害だと思う」が高くなっています。

上段:件数 下段:比率(%)		年齢 (問20)							
		18~29歳	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳代	80歳代	90歳以上
問 13	n値	33	40	55	57	61	72	21	6
	1. 許せない人権侵害だと思う	29 87.9	35 87.5	49 89.1	47 82.5	52 85.2	55 76.4	12 57.1	2 33.3
	2. とりたてて騒ぐほどの問題ではないと思う	- -	1 2.5	1 1.8	- -	2 3.3	1 1.4	2 9.5	- -
	3. 自分とは関係ないことだと思う	3 9.1	3 7.5	- -	5 8.8	3 4.9	2 2.8	2 9.5	- -
	4. よくわからない	1 3.0	1 2.5	5 9.1	5 8.8	4 6.6	14 19.4	5 23.8	4 66.7

は全年齢の結果よりも10ポイント以上高いもの

問 14 あなたは、インターネットを悪用した人権侵害事例を見たり聞いたりしたことがありますか。それはどのような方に向けたものですか。《複数回答》

インターネットの悪用による人権侵害事例については、「9. 人権侵害事例を見たことがない」が 27.6%、「10. インターネットを利用したことがない」が 17.5%に上るものの、多くの人が人権侵害事例を見聞きしています。人権侵害事例の中では、「1. 子ども同士のいじめや悪口に関わるもの」が 27.6%で最も高く、次いで「2. 女性を蔑視する表現の掲示」が 22.3%などとなっています。



※数値は比率 (%)

〔年齢別クロス集計〕

年齢別の傾向をみると、60歳代以上では「10. インターネットを利用したことがない」が高く、50歳代以上では「9. 人権侵害事例を見たことがない」が高くなっていますが、40歳代以下では各人権侵害事例を見聞きしたことがある人が多く、特に18～29歳で顕著となっています。

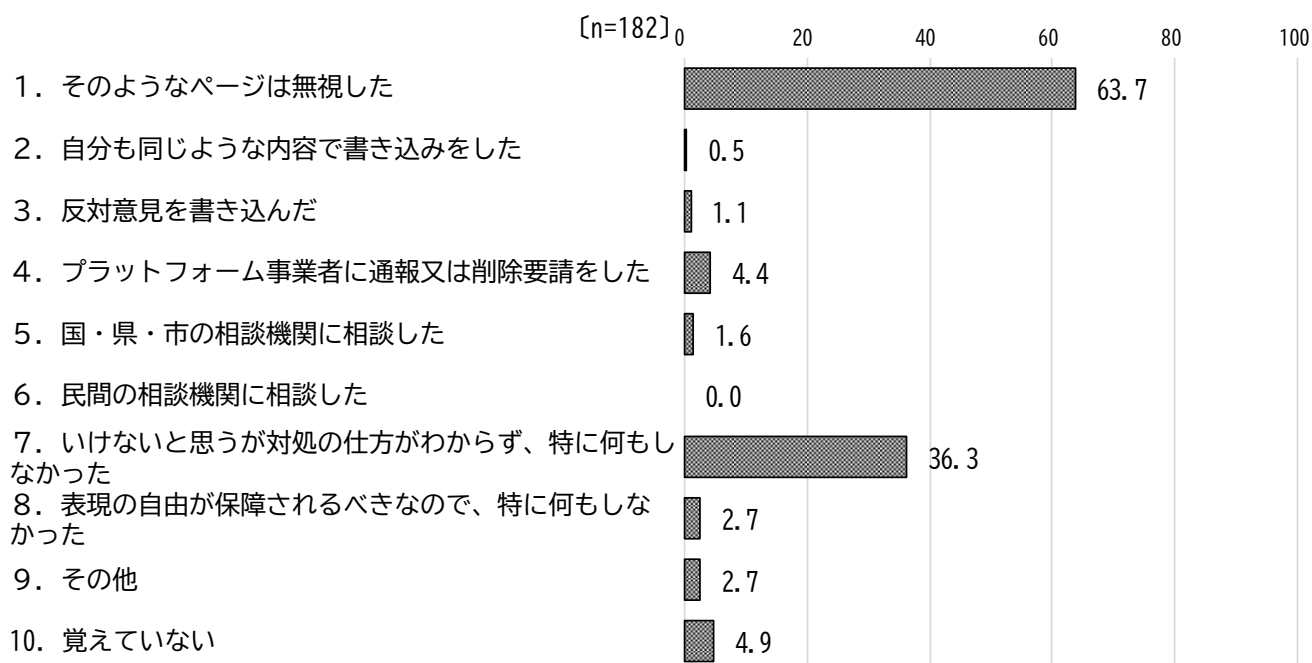
上段:件数 下段:比率(%)		年齢 (問20)							
		18～29歳	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳代	80歳代	90歳以上
問14	n値	33	38	55	56	56	67	16	6
	1. 子ども同士のいじめや悪口に関わるもの	12 36.4	13 34.2	22 40.0	18 32.1	15 26.8	10 14.9	— —	— —
	2. 女性を蔑視する表現の掲示	17 51.5	15 39.5	14 25.5	12 21.4	7 12.5	9 13.4	— —	— —
	3. 障がいのある人を誹謗・中傷する表現の掲示	12 36.4	10 26.3	12 21.8	10 17.9	9 16.1	2 3.0	1 6.3	1 16.7
	4. 高齢者を誹謗・中傷する表現の掲示	8 24.2	7 18.4	11 20.0	9 16.1	3 5.4	1 1.5	— —	— —
	5. 外国人を誹謗・中傷する表現の掲示	13 39.4	12 31.6	13 23.6	8 14.3	6 10.7	2 3.0	— —	— —
	6. 被差別部落出身者を誹謗・中傷する表現の掲示	4 12.1	7 18.4	8 14.5	5 8.9	7 12.5	3 4.5	— —	— —
	7. 性的マイノリティの人々を誹謗・中傷する表現の掲示	11 33.3	10 26.3	18 32.7	10 17.9	11 19.6	3 4.5	— —	1 16.7
	8. その他	— —	3 7.9	4 7.3	4 7.1	1 1.8	3 4.5	— —	— —
	9. 人権侵害事例を見たことがない	8 24.2	10 26.3	14 25.5	19 33.9	17 30.4	18 26.9	4 25.0	— —
	10. インターネットを利用したことがない	— —	— —	— —	4 7.1	12 21.4	26 38.8	11 68.8	5 83.3

は全年齢の結果よりも10ポイント以上高いもの

問 14 で 1 ～ 8 に ○ をつけた方にお聞きします。

問 14-1 そのとき、どのような対応をしましたか。《複数回答》

人権侵害事例を見聞きしたときの対応については、「1. そのようなページは無視した」が 63.7% で最も高く、「7. いけないと思うが対処の仕方がわからず、特に何もしなかった」が 36.3% で続いています。



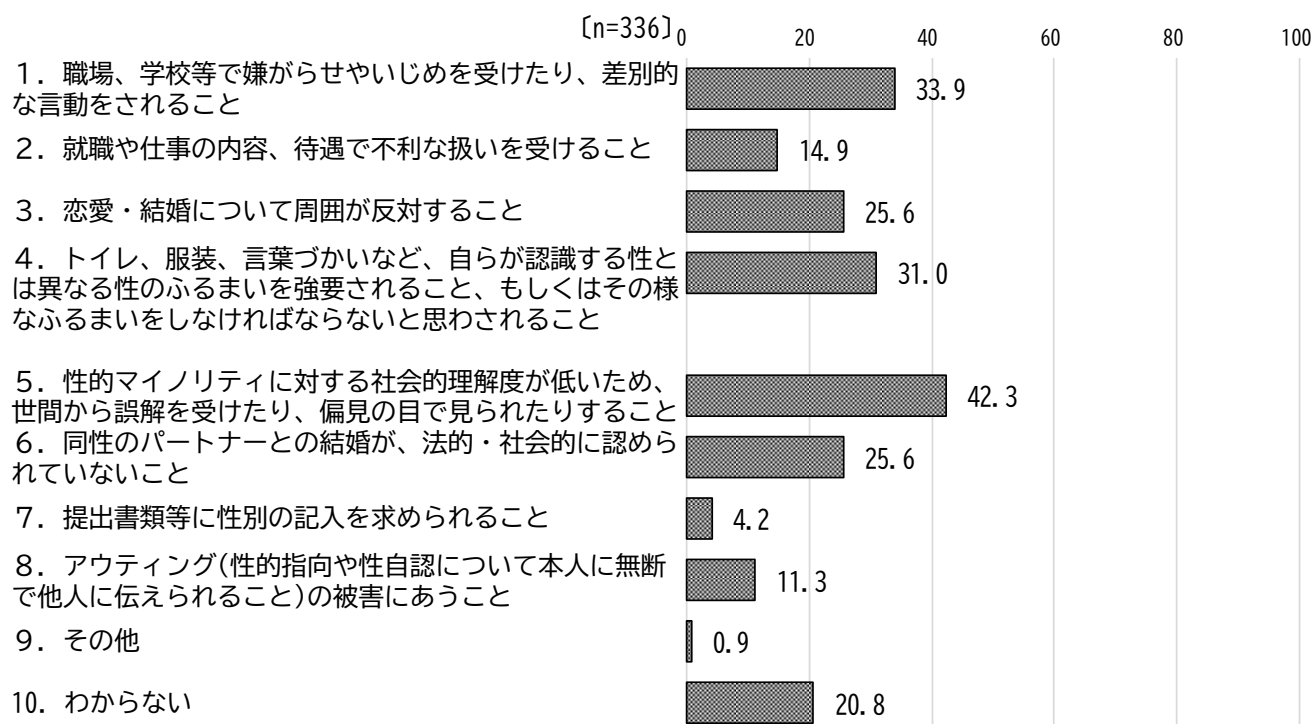
※数値は比率 (%)

◇性的マイノリティの人々の人権

問 15 性的マイノリティの人々の人権が尊重されていないと思うのは、特にどのようなことですか。《複数回答（3つまで）》

性的マイノリティの人々の人権が尊重されていないと思うのは、「5. 性的マイノリティに対する社会的理解度が低いため、世間から誤解を受けたり、偏見の目で見られたりすること」が 42.3% で最も高く、次いで「1. 職場、学校等で嫌がらせやいじめを受けたり、差別的な言動をされること」が 33.9%、「4. トイレ、服装、言葉づかいなど、自らが認識する性とは異なる性のふるまいを強要されること、もしくはその様なふるまいをしなければならないと思わされること」が 31.0% で続きます。

一方、「10. わからない」は 20.8%となっています。



※数値は比率 (%)

〔年齢別クロス集計〕

年齢別の傾向をみると、「5. 性的マイノリティに対する社会的理解度が低いため、世間から誤解やを受けたり、偏見の目で見られたりすること」については60歳代をはじめ50～70歳代で高くなっています。また、「1. 職場、学校等で嫌がらせやいじめを受けたり、差別的な言動をされること」については18～29歳で48.5%、「4. トイレ、服装、言葉づかいなど、自らが認識する性とは異なる性のふるまいを強要されること、もしくはその様なふるまいをしなければならないと思わされること」については30歳代で43.6%、「6. 同性のパートナーとの結婚が、法的・社会的に認められていないこと」については18～29歳で42.4%、30歳代で41.0%と、若年層で高い傾向となっています。

一方、「2. 就職や仕事の内容、待遇で不利な扱いを受けること」については、70歳代、80歳代が高く、他の年齢ではあまり高くない傾向にあります。

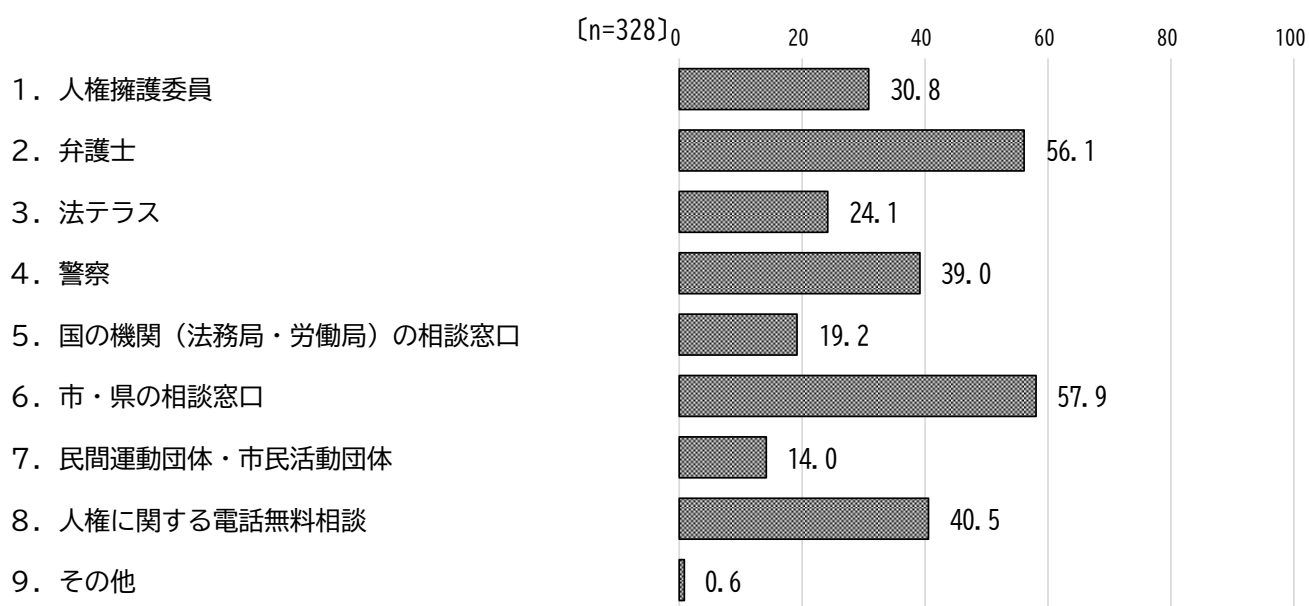
上段:件数 下段:比率(%)		年齢(問20)							
		18～29歳	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳代	80歳代	90歳以上
問15	n値	33	39	52	55	60	64	17	6
	1. 職場、学校等で嫌がらせやいじめを受けたり、差別的な言動をされること	16 48.5	17 43.6	19 36.5	19 34.5	19 31.7	15 23.4	3 17.6	3 50.0
	2. 就職や仕事の内容、待遇で不利な扱いを受けること	2 6.1	8 20.5	7 13.5	6 10.9	3 5.0	16 25.0	4 23.5	1 16.7
	3. 恋愛・結婚について周囲が反対すること	13 39.4	8 20.5	16 30.8	9 16.4	22 36.7	12 18.8	3 17.6	2 33.3
	4. トイレ、服装、言葉づかいなど、自らが認識する性とは異なる性のふるまいを強要されること、もしくはその様なふるまいをしなければならないと思わされること	12 36.4	17 43.6	18 34.6	20 36.4	21 35.0	9 14.1	4 23.5	- -
	5. 性的マイノリティに対する社会的理解度が低いため、世間から誤解を受けたり、偏見の目で見られたりすること	13 39.4	13 33.3	20 38.5	27 49.1	33 55.0	28 43.8	4 23.5	2 33.3
	6. 同性のパートナーとの結婚が、法的・社会的に認められていないこと	14 42.4	16 41.0	14 26.9	15 27.3	11 18.3	13 20.3	2 11.8	- -
	7. 提出書類等に性別の記入を求められること	2 6.1	1 2.6	2 3.8	1 1.8	4 6.7	2 3.1	1 5.9	- -
	8. アウティング(性的指向や性自認について本人に無断で他人に伝えられること)の被害にあうこと	5 15.2	4 10.3	5 9.6	5 9.1	12 20.0	6 9.4	- -	- -
	9. その他	- -	1 2.6	- -	1 1.8	- -	1 1.6	- -	- -
	10. わからない	4 12.1	6 15.4	8 15.4	13 23.6	8 13.3	17 26.6	8 47.1	2 33.3

は全年齢の結果よりも10ポイント以上高いもの

Ⅱ. 今後の人権教育・啓発のあり方について

問 16 あなたは、人権侵害に関する相談機関としてどのようなものを知っていますか。
《複数回答》

人権侵害に関する相談機関の認知度については、「6. 市・県の相談窓口」が 57.9%、「2. 弁護士」が 56.1%で高くなっているほか、「8. 人権に関する無料電話相談」や「4. 警察」も 40% 前後に上ります。



※数値は比率（%）

〔年齢別クロス集計〕

年齢別の傾向をみると、「6. 市・県の相談窓口」及び「2. 弁護士」はどの年齢でも高い傾向があるものの、「6. 市・県の相談窓口」は80歳代で82.4%と高くなっており、「2. 弁護士」については18～29歳が64.5%と高くなっています。

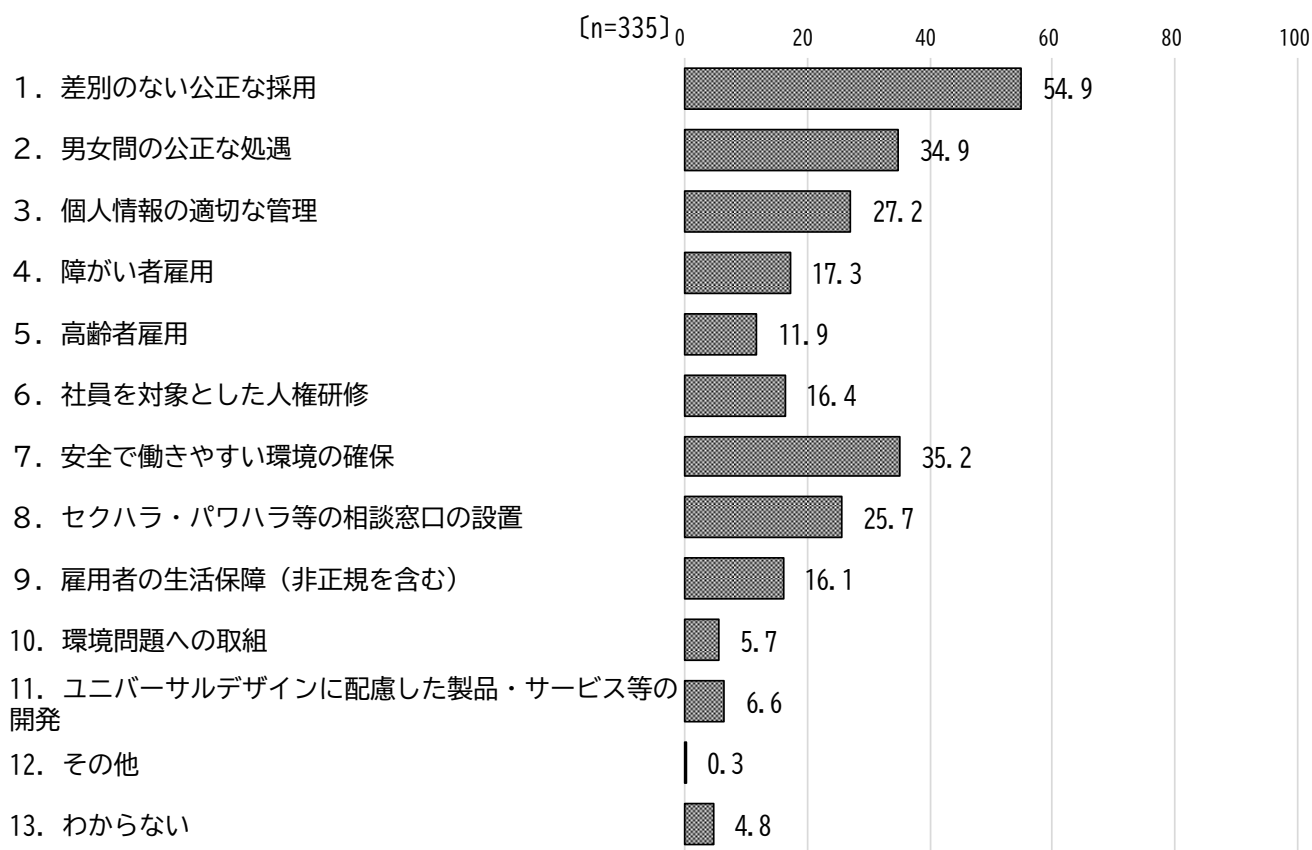
一方、「4. 警察」や「8. 人権に関する電話無料相談」は18～29歳が51.6%と高く、「1. 人権擁護委員」については70歳代以上で高く、若年層の認知度が低い傾向にあります。

上段:件数 下段:比率(%)		年齢(問20)							
		18～29歳	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳代	80歳代	90歳以上
問16	n値	31	37	51	55	57	66	17	6
	1. 人権擁護委員	5 16.1	9 24.3	5 9.8	16 29.1	18 31.6	35 53.0	9 52.9	4 66.7
	2. 弁護士	20 64.5	22 59.5	29 56.9	31 56.4	36 63.2	35 53.0	6 35.3	2 33.3
	3. 法テラス	8 25.8	9 24.3	14 27.5	15 27.3	16 28.1	14 21.2	1 5.9	1 16.7
	4. 警察	16 51.6	16 43.2	7 13.7	25 45.5	24 42.1	26 39.4	8 47.1	4 66.7
	5. 国の機関(法務局・労働局)の相談窓口	6 19.4	8 21.6	13 25.5	13 23.6	6 10.5	11 16.7	3 17.6	3 50.0
	6. 市・県の相談窓口	14 45.2	23 62.2	29 56.9	29 52.7	33 57.9	40 60.6	14 82.4	4 66.7
	7. 民間運動団体・市民活動団体	5 16.1	6 16.2	6 11.8	10 18.2	7 12.3	10 15.2	1 5.9	1 16.7
	8. 人権に関する電話無料相談	16 51.6	12 32.4	18 35.3	25 45.5	23 40.4	29 43.9	7 41.2	1 16.7
	9. その他	- -	- -	- -	1 1.8	- -	- -	- -	- -

■は全年齢の結果よりも10ポイント以上高いもの

問 17 あなたは、人権に関する企業の社会的責任として、特にどのようなことが重要だと思いますか。《複数回答（3つまで）》

人権に関する企業の社会的責任については、「1. 差別のない公正な採用」が 54.9%で最も高くなっています。次いで、「7. 安全で働きやすい環境の確保」が 35.2%、「2. 男女間の公正な処遇」が 34.9%が続いています。また、「3. 個人情報の適切な管理」や「8. セクハラ・パワハラ等の相談窓口の設置」も 25%以上と高くなっています。



※数値は比率 (%)

〔年齢別クロス集計〕

年齢別の傾向をみると、「1. 差別のない公正な採用」は 30 歳代が低いものの、概ね全年齢層で高くなっています。また、「7. 安全で働きやすい環境の確保」については 30 歳代で、「2. 男女間の公正な処遇」については 18～29 歳で、それぞれ高くなっています。そのほか、「8. セクハラ・パワハラ等の相談窓口の設置」については 18～29 歳で、「6. 社員を対象とした人権研修」は 30 歳代と 70 歳代で、「5. 高齢者雇用」は 60 歳代で、それぞれ高くなっています。

上段:件数 下段:比率(%)		年齢(問20)							
		18～29 歳	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳代	80歳代	90歳以上
問 17	n値	32	37	52	55	59	68	17	6
	1. 差別のない公正な採用	20 62.5	16 43.2	26 50.0	34 61.8	35 59.3	37 54.4	10 58.8	3 50.0
	2. 男女間の公正な処遇	15 46.9	16 43.2	21 40.4	17 30.9	16 27.1	25 36.8	5 29.4	- -
	3. 個人情報の適切な管理	5 15.6	10 27.0	11 21.2	15 27.3	21 35.6	19 27.9	4 23.5	1 16.7
	4. 障がい者雇用	5 15.6	3 8.1	10 19.2	12 21.8	9 15.3	15 22.1	2 11.8	2 33.3
	5. 高齢者雇用	2 6.3	1 2.7	4 7.7	6 10.9	13 22.0	8 11.8	3 17.6	2 33.3
	6. 社員を対象とした人権研修	2 6.3	10 27.0	7 13.5	7 12.7	9 15.3	18 26.5	1 5.9	- -
	7. 安全で働きやすい環境の確保	12 37.5	19 51.4	23 44.2	17 30.9	21 35.6	20 29.4	3 17.6	1 16.7
	8. セクハラ・パワハラ等の相談窓口の設置	14 43.8	8 21.6	15 28.8	15 27.3	16 27.1	15 22.1	1 5.9	- -
	9. 雇用者の生活保障(非正規を含む)	1 3.1	9 24.3	9 17.3	11 20.0	8 13.6	11 16.2	2 11.8	1 16.7
	10. 環境問題への取組	1 3.1	2 5.4	1 1.9	6 10.9	2 3.4	3 4.4	2 11.8	1 16.7
	11. ユニバーサルデザインに配慮した製品・サービス等の開発	3 9.4	2 5.4	5 9.6	4 7.3	5 8.5	3 4.4	- -	- -
	12. その他	- -	1 2.7	- -	- -	- -	- -	- -	- -
	13. わからない	2 6.3	2 5.4	2 3.8	- -	2 3.4	4 5.9	2 11.8	1 16.7

は全年齢の結果よりも10ポイント以上高いもの

〔性別クロス集計〕

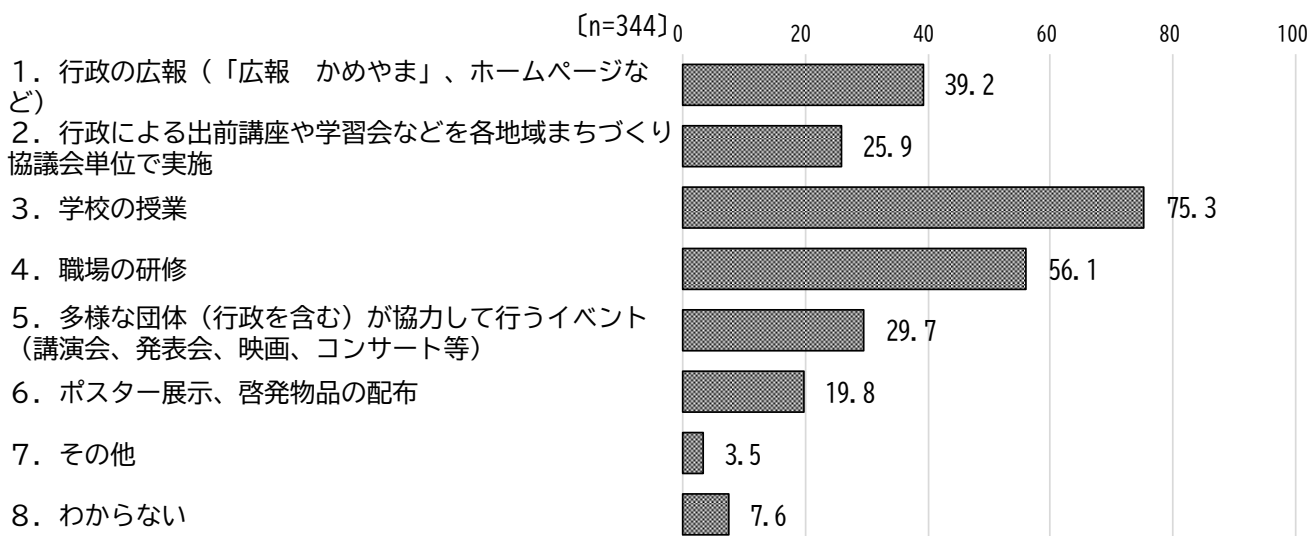
性別による傾向をみると、「7. 安全で働きやすい環境の確保」については女性が、「3. 個人情報の適切な管理」については男性が、それぞれ高くなっています。一方、「2. 男女間の公正な処遇」については、男女間の差はほとんどありませんでした。

上段:件数 下段:比率(%)		性別 (問19)		
		男性	女性	どちらともいえない、又は答えたくない
問17	n値	158	165	6
	1. 差別のない公正な採用	86 54.4	91 55.2	3 50.0
	2. 男女間の公正な処遇	57 36.1	58 35.2	1 16.7
	3. 個人情報の適切な管理	49 31.0	36 21.8	3 50.0
	4. 障がい者雇用	28 17.7	28 17.0	1 16.7
	5. 高齢者雇用	22 13.9	16 9.7	1 16.7
	6. 社員を対象とした人権研修	29 18.4	25 15.2	1 16.7
	7. 安全で働きやすい環境の確保	48 30.4	67 40.6	2 33.3
	8. セクハラ・パワハラ等の相談窓口の設置	40 25.3	45 27.3	1 16.7
	9. 雇用者の生活保障（非正規を含む）	21 13.3	30 18.2	2 33.3
	10. 環境問題への取組	8 5.1	10 6.1	-
	11. ユニバーサルデザインに配慮した製品・サービス等の開発	6 3.8	16 9.7	-
	12. その他	1 0.6	-	-
	13. わからない	7 4.4	8 4.8	-

■は全体結果よりも10ポイント以上高いもの

問 18 あなたが、効果的だと思う人権に関する教育・啓発・広報活動の方法は何だと思いますか。《複数回答》

効果的だと思う教育・啓発・広報活動の方法については、「3. 学校の授業」が 75.3%で最も高くなっています。次いで、「4. 職場の研修」が 56.1%、「1. 行政の広報（「広報 かめやま」、ホームページなど）」が 39.2%で続きます。



※数値は比率（%）

〔年齢別クロス集計〕

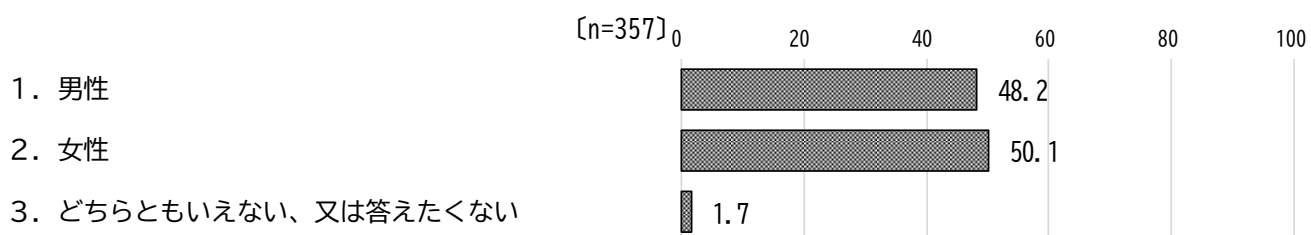
年齢別の傾向をみると、「3. 学校の授業」は全年齢層で高い傾向があります。一方、「4. 職場の研修」は18～29歳をはじめ、若年層で特に高く、「1. 行政の広報（「広報 かめやま」、ホームページなど）」については60歳代以上の高齢層で高い傾向があります。また、「2. 行政による出前講座や学習会などを各地域まちづくり協議会単位で実施」については、80歳代以上で高くなっています。

上段:件数 下段:比率(%)		年齢(問20)							
		18～29歳	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳代	80歳代	90歳以上
問18	n値	33	39	53	57	60	70	17	6
	1. 行政の広報（「広報 かめやま」、ホームページなど）	8 24.2	11 28.2	15 28.3	20 35.1	30 50.0	38 54.3	7 41.2	3 50.0
	2. 行政による出前講座や学習会などを各地域まちづくり協議会単位で実施	5 15.2	8 20.5	10 18.9	17 29.8	18 30.0	21 30.0	7 41.2	3 50.0
	3. 学校の授業	25 75.8	32 82.1	43 81.1	45 78.9	50 83.3	45 64.3	8 47.1	4 66.7
	4. 職場の研修	22 66.7	25 64.1	34 64.2	30 52.6	36 60.0	36 51.4	5 29.4	1 16.7
	5. 多様な団体（行政を含む）が協力して行うイベント（講演会、発表会、映画、コンサート等）	12 36.4	9 23.1	16 30.2	12 21.1	20 33.3	22 31.4	6 35.3	2 33.3
	6. ポスター展示、啓発物品の配布	7 21.2	8 20.5	5 9.4	10 17.5	18 30.0	14 20.0	2 11.8	2 33.3
	7. その他	2 6.1	3 7.7	1 1.9	4 7.0	- -	- -	1 5.9	- -
	8. わからない	3 9.1	3 7.7	4 7.5	4 7.0	2 3.3	4 5.7	3 17.6	1 16.7

は全年齢の結果よりも10ポイント以上高いもの

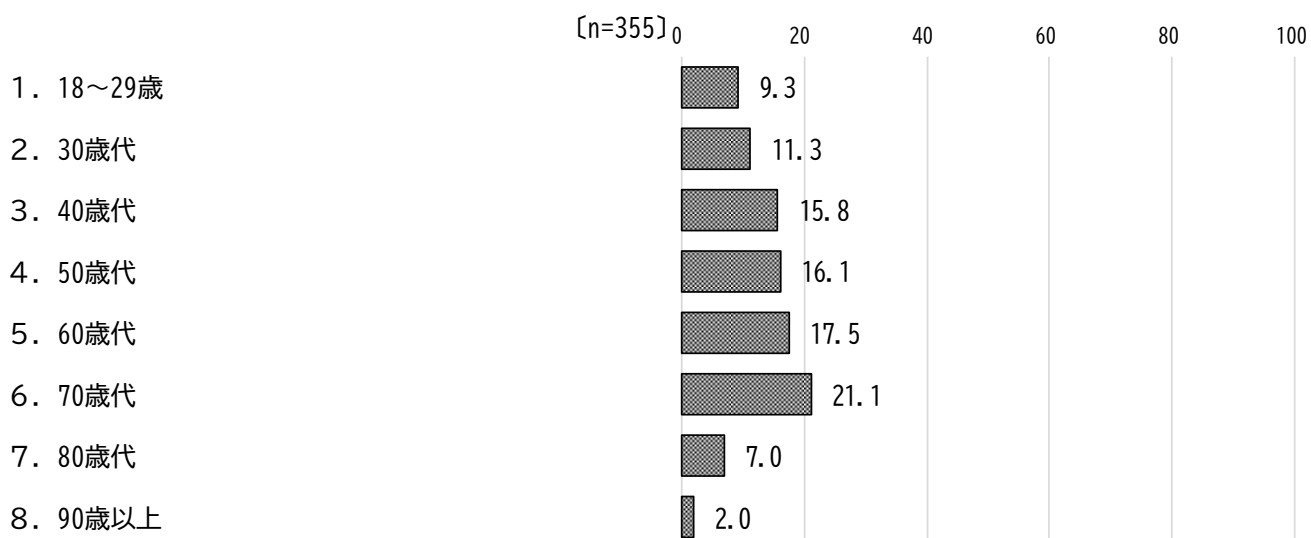
Ⅲ. あなた自身のことについて

問 19 性別《択一回答》



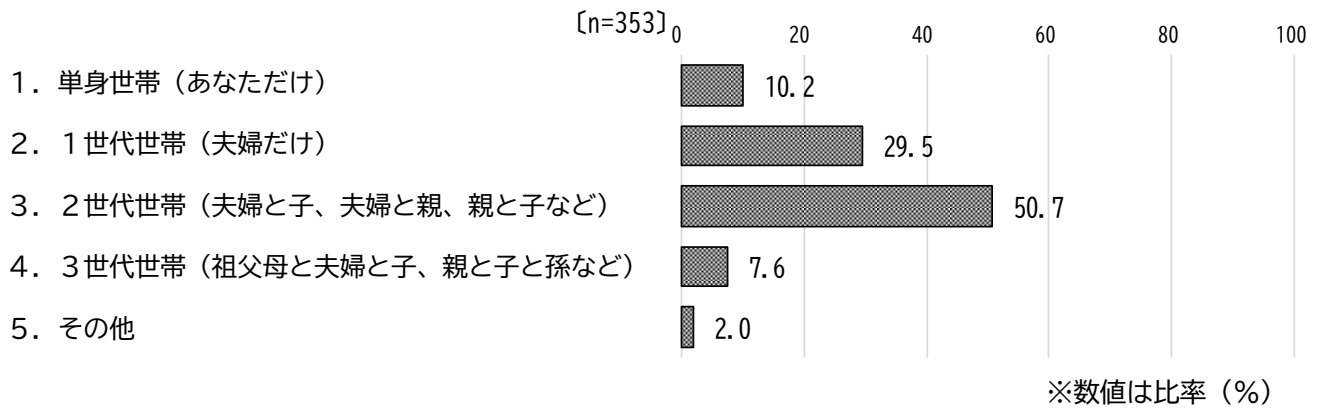
※数値は比率 (%)

問 20 年齢《択一回答》



※数値は比率 (%)

問 21 家族構成《択一回答》



問 22 居住地区《択一回答》

